



2023 PROJECT REPORT

親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会

世界へ旅する 絵本ボート

そうぞうしてみよう
この海の手先 海の中
ずっとむこうの海のこと

絵本が届けてくれるのは
わたしたちの知らない 海のおはなし

日本の海 アメリカの海
中国の海 ヨーロッパの海
北極の海 アフリカの海
どの国のどの海も
ほんとは ぜんぶおんなじ海のこと

この海は ずっとむこうまでつながる
たったひとつの海だから

さあ みんなでシェアしよう
この海のおはなしを

絵本といっしょに
海のむこうの仲間と出会う旅へ

さあ 海のむこうの仲間と出会う旅へ

企画趣旨

**「世界へ旅する絵本ボート」は
「絵本」を通じて、こどもたちの「世界の海」への興味を広げ
世界と協力して海を守ることの大切さを届けます。**

絵本を通して、石川県のこどもへ

「絵本」から、海はただひとつの世界共通のもの、と知り
世界の海洋問題を“自分ごと”として考えることを促す

絵本を通して、世界のこどもへ

「絵本」を通して、海はただひとつの世界共通のもの、と届け
石川県のこどもたちが海に約束する行動（アクション）を伝える

2023年度 プロジェクト概要

2023年度
新規コンテンツ



せかいの海のおはなし展

- ・日本と世界の「海」に関わる絵本を集めた絵本展を開催
- ・石川県内の6図書館、2商業施設に拡大



せかいの海のおはなし会

- ・世界の海がテーマの絵本を読み聞かせるおはなし会を開催
- ・石川県内の6図書館、2商業施設に拡大



せかいこども海会議

- ・「世界の海」について考えるシンポジウムを石川県内3図書館で開催
- ・外国人ゲストが各国での海での過ごし方を教えてください



漂着モンスターワークショップ

- ・海で拾った漂着物で絵本作家“竹与井かこ”さんとモンスターを作るワークショップを開催(作品募集キャンペーンも同時開催)



絵本制作&海外図書館交流

- ・上記作品募集キャンペーンで募集した「漂着モンスター」が登場する絵本を制作し、世界の図書館へ届けます



せかいの海のおはなし展

2023年は
開催回数を
拡大

「世界の海」の絵本や「海の世界」の絵本を集めて図書館で紹介します。絵本といっしょに海のむこうで描かれる「海」の世界にふれてみましょう。



- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 小松市立空とこども絵本室
7/14@ → 8/23@ | 学びの社のいちカレード
7/15@ → 8/22@ |
| かほく市立中央図書館
7/15@ → 8/20@ | 金沢海みらい図書館
7/27@ → 8/15@ |
| 石川県立図書館
8/20@ → 8/23@ | 玉川こども図書館
8/27@ → 9/18@ |

さまざまな国の海の絵本を紹介しています

アルバ うつくしうみをもった100歳のさかな
作: 船津ラウラ
訳: 船津 和子
出版社: 岩波書店

うみ
作: エリット・ラウド
訳: 内田 登枝子
出版社: 岩波書店

ママとうみのやくそく
作: コヒコヒ 船エヴァルディン
訳: 内田 登枝子
出版社: 主婦の友社

せかいの海のおはなし会

当日参加
OK!

おはなし会の会場に、大きなアースボールが登場。海のおはなしと一緒に、世界の海について想像してみよう。

【対象】どなたでも(3歳以上のお子様向けの絵本の読み聞かせもご用意)



- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 学びの社のいちカレード
7/17@ 10:30 | 小松市立空とこども絵本室
7/23@ 10:30 |
| かほく市立中央図書館
7/30@ 11:00 | 学びの社のいちカレード
8/6@ 10:30 |
| 金沢海みらい図書館
8/12@ 10:30 | 石川県立図書館
8/20@ 10:30 |
| 玉川こども図書館
8/27@ 11:00 | |
- ※おはなし会は30分程度を予定しております。

せかいこども海会議

事前申込が
必要です

世界の人は海でどんな過ごし方をしているの?どんな生き物と出会うの?世界のひとと一緒に海のおはなしをしながら考えてみよう。

【対象】小学生以上のお子さま(親子参加可)



- 参加は事前申込となります
- | | |
|---------------------------------|------------------|
| かほく市立中央図書館
7/19@ 16:00-17:30 | 参加申し込みは
コチラから |
| 学びの社のいちカレード
8/6@ 13:30-14:30 | |
| 玉川こども図書館
9/16@ 14:30-15:30 | |



漂着モンスター 創作ワークショップ

事前申込が
必要です

海で拾ったゴミや貝(漂着物)で、絵本作家の竹与井かこさんと「漂着モンスター」をつくろう。
(作品は裏面の絵本制作プロジェクトキャンペーンに応募できます。)

【対象】小学生以上のお子さま(30組/60名様)
※3年生までのお子さまは保護者同伴でお願いします。



- 参加は事前申込となります
- 参加申し込みは
コチラから
- 【日 時】8/10@ 10:30-12:00(10:00開場)
【場 所】金沢海みらい図書館 交流ホール
【持ち物】自分で拾った漂着物
(洗って持ってきてください。)
- ※募集人数が定員に達した場合、応募を締め切らせていただきます。
※参加者の方には近隣駐車場を別途ご案内します。



絵本制作 & 海外図書館交流

みんながつくった「漂着モンスター」とそのおはなしを1冊の絵本にして、世界の図書館へ届けます。(2024年1月に絵本は完成予定)

「世界へ送る海の絵本制作プロジェクト」の作品応募キャンペーンは、裏面にをご覧ください。

- 2022年の交流図書館
- USA / Buffalo and Erie County Public Library
 - Belgium / Bibliotheek De Krook
 - France / Bibliothèques et Ludothèque de Nancy
 - 大韓民国 / 全州市立図書館コンファム
 - 台湾 / 台北市立圖書館 公園總館
 - New Zealand / HB Williams Memorial Library
 - Brazil / Porto Alegre
 - ※市内の7つの学校図書館を巡回



読書の力か・石川子ども文庫推進委員会 世界の海の絵本の読書とおはなしの読書の力を広げていきます。 お問い合わせ 「世界へ送る絵本プロジェクト」事務局 TEL.076-269-0750 受付時間 平日9時~17時 土日休館 2024年2月29日現在



漂着モンスターの作品応募キャンペーンは 7/15@ → 9/30@まで

せかいの海のおはなし展

開催期間：2023年7月14日～9月18日

開催場所：石川県立図書館

金沢市立玉川こども図書館

金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館



せかいの海のおはなし展

日本と世界の「海」に関わる絵本を集めた企画展を夏休み期間中の図書館で展開。
石川県の親子に向けて、絵本を通じた『世界とつながる海』への好奇心を育む機会となりました。

開催期間：2023年7月14日～9月18日

開催場所：石川県立図書館

金沢市立玉川こども図書館

金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館

内容：世界とのつながりが感じられる海の絵本を選書し、
世界の海とのつながりを考えさせるコメントとともに展示紹介

協力：石川県立図書館・金沢市立玉川こども図書館・金沢市立金沢海みらい図書館
小松市立空とこども絵本館・野々市市立学びの杜ののいち カレード・かほく市立中央図書館
石川子ども文庫連絡会、絵本専門士

絵本の選書 & 紹介

「せかいの海のおはなし展」では

- ・世界の海、海の中の世界を知る絵本
- ・海外作家の「海」の絵本を12冊選書し、

その絵本を紹介するのコメントをつけて展示しました。

選書は、「石川子ども文庫連絡会」のほか、絵本専門士の協力を得て行いました。



うみへいった ちいさなカニカニ
DON'T WORRY LITTLE CRAB

まだ見ぬうつくしい世界に おくびょうになっていないか。

アイルランドの代表する作家が描く「ちいさなカニ」のおはなし。カニは世界中の海や川で見られる生き物。世界の絵本でもよく登場しています。このおはなしでは、ちいさなカニが挑む海へのはじめの一步が描かれます。ちいさなカニと一緒に海の世界の中へとびだしてみましよう。

うみへいった ちいさなカニカニ(アイルランド)
クリス・ホートン作 木坂涼訳
BL出版



アルバ うつくしいうみをまもった100歳のさかな
ALBA THE HUNDREYEAR OLD FISH

アルバのだいすきな海をとりもどそう

サンゴ礁の海のまちが大好きなアルバ。たくさんの海の仲間と仲良く暮らしていましたが100歳の誕生日を迎えるころ、仲間がいなくなっていたことに気づきました。海のゴミであるペットボトルの寿命は 250 年以上ともいわれます。アルバの大好きな海を取り戻すために、わたしたちにできることはなんでしょう。最後のページにある“5つのこと”からはじめてみませんか。

アルバ うつくしいうみをまもった100歳のさかな(イギリス)
ララ・ホーソーン作・絵 新沢としのこ訳
教育画劇



THE LITTLE ISLAND

ちいさな島の世界のつながり

おきな海にあるちいさな島。ちっぴけに見える島ですが、そこは渡り鳥が羽を休め、カワセミが巣をつくり、アザラシは子育てをする…生き物にとっては大切な場所。ちいさな島でも、さまざまないのちと、世界とつながっていることを、この島は知っています。世界のつながりを感じながら、自分の世界に誇りをもつ島のおはなしです。

ちいさな島(アメリカ)
ゴールデン・マクドナルド作 レナード・ワイスガード絵 谷川俊太郎訳
童話館出版



いのちあふれる海へ
LIFE IN THE OCEAN
The Story of Oceanographer SYLVIA EARLE

わたしたち人間は、海を知らないから、海を本気で守らない。

アメリカの海洋学者シルビア・アールさんのおはなしです。海に入り、海の中で時間を過ごし、生き物たちを観察し、そして耳をかたむける…。そうすることで、海の世界にも、わたしたちと同じように、いのちある生き物たちが毎日暮らしていることを感じる事ができます。まず海を知ってほしい、そんなシルビアさんの声に耳をかたむけてみてください。

いのちあふれる海へ(イタリア)
クレア A.ニヴォラ作 おひか ゆうこ訳
福音館書店



うみ
The Sea

「うみ」は みんなの おかあさん

ヨーロッパの国、エストニア生まれの絵本です。この絵本にでてくる「海」は、みんなのお母さん。おやすみ前のものごたりの時間など、おかあさんと子どもたちとのやりとりを描いています。わたしたちの知る漢字の「海」という字にも「母」という字が入っています。「海」という場所が、わたしたち人間をふくめた生き物のたちの「母」であるという思いは、世界共通なのかもしれませんね。

うみ(エストニア)
ピレット・ラウド作 内田 也哉子訳
岩波書店



なみのむこうに
Ella and the Waves

海は おそろしい場所にもなるけど あたらしい場所につれていってもらえる。

海の上でひとりぼっちになってしまった少女、エラ。ひろく、深い海におびえるエラでしたが、海にいるたくさんの仲間たちが、道を示し、エラをあたらしい岸へ導いてくれます。「あなたはずっとひとり旅しているわけじゃないの。」ドイツの作家のやさしくてあたたかなおはなしです。

なみのむこうに(ドイツ)
ブリッタ・テッケントラップ作 三原
BL出版



ママとうみのやくそく

엄마는 해녀입니다 Mom is a Haenyo

「うみは ぜったいに にんげんの よくばりを ゆるしてくれやしないよ。」

世界無形文化遺産にも指定されている、韓国・濟州島のヘニョ(海女さん)のおはなしです。ヘニョであるおばあちゃんは、毎日海の恵みをいただきながら、海のはたけを育てる恩返しをしています。海とともに生きる「ヘニョ」に伝わるうつくしい約束をおばあちゃんがやさしく教えてくれます。

ママとうみのやくそく(韓国)

コ・ヒョン 文 エヴァ・アルミセン絵 おおたけきよみ訳
主婦の友社



エリンとまっくら岩の秘密
THE SECRET OF BLACK ROCK

ほんどうの姿を知れば、きっと、もっと、友だちになれる。

イギリスで描かれた心温まるおとぎばなしです。港町に住む男の子、エリンは海にでたくてまらぬのに、大人たちは海のむこうの「まっくら岩」の危険はなしばかりをして連れて行ってくれない。しかし、ある日エリンは船に紛れ込み、「まっくら岩」と出会ってそのひみつを知ること…。海と人間が仲良くなるため、エリンは勇敢に立ち向かいます。

エリンとまっくら岩の秘密(イギリス)

ジョー・トッド＝スタントン作 せな あいこ訳
評論社



地球ものがたり 海のうえに暮らす

海の上で暮らす民族 パジョ

インドネシア、フィリピン近海の静かな海のうえで暮らす漂海民「パジョ」と呼ばれる人びとのおはなしです。海上の家で互いに助け合いながら暮らし、月や太陽や星を自印にして自然とともに生きるパジョの人たち。携帯電話もインターネットもない暮らしですが、その暮らしは穏やかでやさしく感じます。自然とともに生きる人たちの文化に触れてみましょう。

地球ものがたり 海のうえに暮らす(インドネシア)

関野吉晴 作
ほるぷ出版



おーい、こちら灯台

HELLO, LIGHTHOUSE

海の航海を守る「灯台守」がいたこと、知っていますか。

灯台は、遠くの海まで光をおくり、船の安全を守るもの。今では無人の場所となりましたが、英語で「LIGHTHOUSE(灯りの家)」と呼ばれるように、およそ 100 年前までは灯台には人が住み、人の手でその灯りが管理されていました。このおはなしは、そんな海の安全見守ってくださった灯台守の、あたたかな日常を描いています。オーストラリア生まれの絵本作家による絵本。

おーい、こちら灯台(オーストラリア)
ソフィー・ブラッコール作 山口文生訳
評論社



イワシ大王のゆめ

말치 대왕의 꿈 THE KING ANCHOVY'S DREAM

韓国に伝わる、海の生き物のおかしな話

韓国の小学校の教科書にもでてくる、韓国に伝わる昔ばなし。絵本に登場するイワシも、ヒラメも、ナマズも、エビも…。わたしたち日本でもよく知られている海の生き物です。それぞれの海の生き物の特徴を、韓国の教えとともにユーモアたっぷりに教えてくれます。

イワシ大王のゆめ(韓国)

チョン・ミジン再話 イ・ジョンギョン絵 おおたけ きよみ訳
光村教育図書



3人のちいさな人魚

The Three Little Mermaids

世界には、こんな人魚もいるのかも知れない。

フランスの作家夫婦が描いた「人魚」をテーマにした絵本です。人魚は世界各国でも愛されるテーマのひとつ。この絵本で描かれる人魚は、アンデルセンの「にんぎょひめ」とはまるでタイプの違う、にぎやかな 3 人の人魚たちです。人魚たちと人間の女の子の出会いと別れを描いたさわやかな友情ものがたり。

3人のちいさな人魚(フランス)

デニス・トレ アレイン・トレ作 デニス・トレ アレイン・トレ絵 麻生九美 訳
評論社

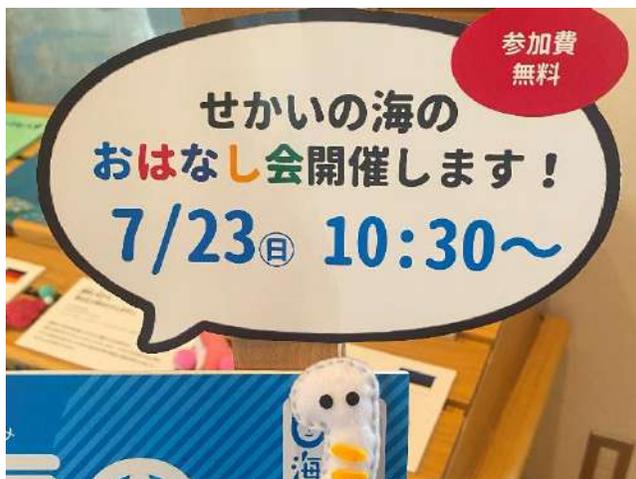
小松市立空とこども絵本館

開催期間： 2023年7月14日～8月23日(計31日間)

開催場所： 本館1階 特設棚

展示内容： 選書絵本12冊 + 図書館司書による選書本

来場者数： 1,150名



学びの杜ののいち カレード①

開催期間： 2023年7月15日～8月22日(計34日間)

開催場所： 1階児童書コーナー

展示内容： 選書絵本12冊 + 図書館司書による選書本

来場者数： 21,900名





せかいの海のおはなし展

学びの杜ののいち カレード②

開催期間： 2023年8月5日～6日(計2日間)

開催場所： オープンギャラリー

展示内容： 選書絵本25冊(2022年度選書分も含む)

来場者数： 456名



かほく市立中央図書館

開催期間： 2023年7月15日～8月20日(計32日間)

開催場所： 1Fフロント前コーナー

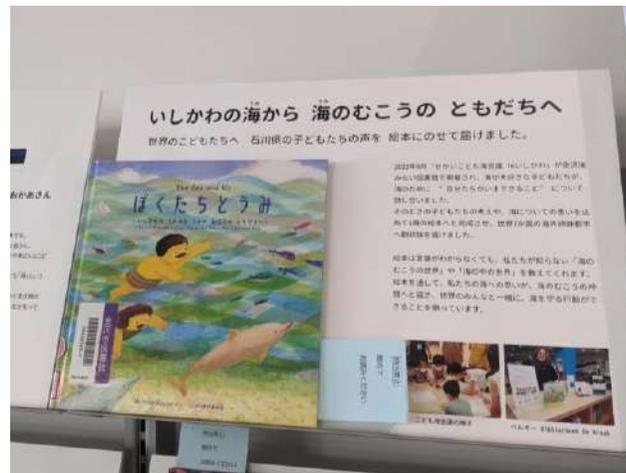
展示内容： 選書絵本12冊 + 図書館司書による選書本

来場者数： 7,370名



金沢海みらい図書館

開催期間： 2023年7月27日～8月15日(計18日間)
 開催場所： 1階児童書コーナー
 展示内容： 選書絵本12冊 + 図書館司書による選書本
 来場者数： 8,867名



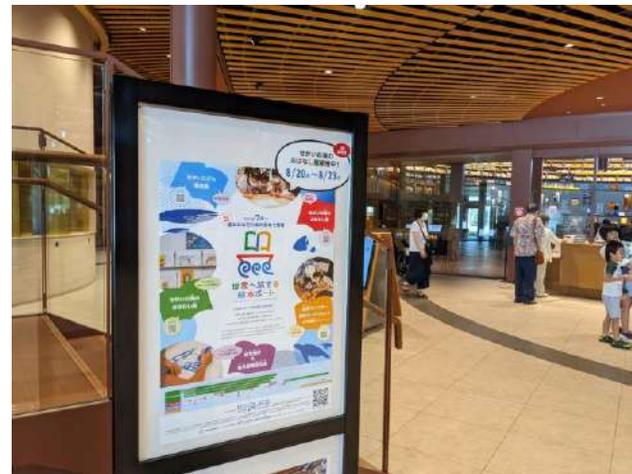
石川県立図書館

開催期間： 2023年8月20日～8月23日(計3日間)

開催場所： 2階 研修室

展示内容： 選書絵本25冊(2022年度選書分も含む)

来場者数： 161名



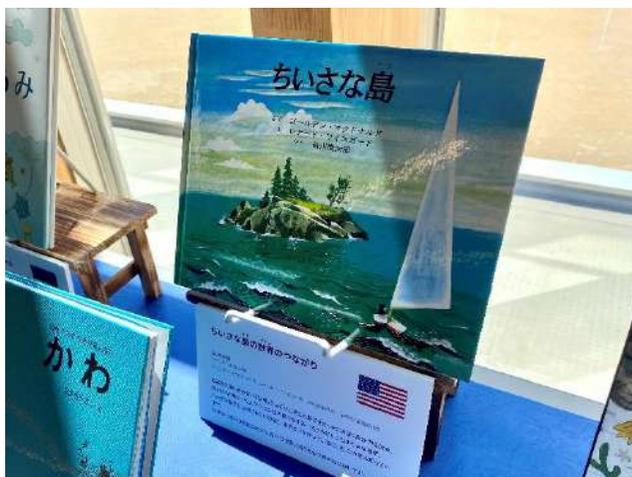
玉川こども図書館

開催期間： 2023年8月27日～9月18日(計20日間)

開催場所： 2階読書活動室

展示内容： 選書絵本18冊(2022年度選書分も含む)

来場者数： 3,800名



●A3おはなし展告知パネル

せかいの海のおはなし展

小松市立 空とこども絵本館

さあ 海のもこうの仲間と出会う旅へ

7/14(金) >>> 8/23(水)

世界へ 旅する 絵本ボート

Let's share stories of our ocean by the picture book.

そうぞうしてみよう
この海の外 海の外が
ずっともこうの海のこと

絵本といっしょに
海のもこうの仲間と出会う旅へ

「世界へ旅する絵本ボート」は「絵本」を通じて、こどもたちの「世界の海」への興味を広げ、世界と協力して海を守ることの大切さを届けるプロジェクトです。

The "World Traveling Picture Book Boat" aims to get children interested in the world's oceans, using picture books to share the importance of working together to protect our oceans.

主催：親子絵本ワールドインいしかわ実行委員会、北國新聞社 共催：日本財団「海と日本プロジェクト」
後援：金沢市教育委員会、小松市教育委員会、野々市市教育委員会、かほく市教育委員会、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ、こまつFM、おたけFM、FM77.7、FM80.2、FM89.7、FM90.7、FM95.7、FM97.7、FM99.7、FM100.7、FM102.7、FM104.7、FM106.7、FM108.7、FM110.7、FM112.7、FM114.7、FM116.7、FM118.7、FM120.7、FM122.7、FM124.7、FM126.7、FM128.7、FM130.7、FM132.7、FM134.7、FM136.7、FM138.7、FM140.7、FM142.7、FM144.7、FM146.7、FM148.7、FM150.7、FM152.7、FM154.7、FM156.7、FM158.7、FM160.7、FM162.7、FM164.7、FM166.7、FM168.7、FM170.7、FM172.7、FM174.7、FM176.7、FM178.7、FM180.7、FM182.7、FM184.7、FM186.7、FM188.7、FM190.7、FM192.7、FM194.7、FM196.7、FM198.7、FM200.7、FM202.7、FM204.7、FM206.7、FM208.7、FM210.7、FM212.7、FM214.7、FM216.7、FM218.7、FM220.7、FM222.7、FM224.7、FM226.7、FM228.7、FM230.7、FM232.7、FM234.7、FM236.7、FM238.7、FM240.7、FM242.7、FM244.7、FM246.7、FM248.7、FM250.7、FM252.7、FM254.7、FM256.7、FM258.7、FM260.7、FM262.7、FM264.7、FM266.7、FM268.7、FM270.7、FM272.7、FM274.7、FM276.7、FM278.7、FM280.7、FM282.7、FM284.7、FM286.7、FM288.7、FM290.7、FM292.7、FM294.7、FM296.7、FM298.7、FM300.7、FM302.7、FM304.7、FM306.7、FM308.7、FM310.7、FM312.7、FM314.7、FM316.7、FM318.7、FM320.7、FM322.7、FM324.7、FM326.7、FM328.7、FM330.7、FM332.7、FM334.7、FM336.7、FM338.7、FM340.7、FM342.7、FM344.7、FM346.7、FM348.7、FM350.7、FM352.7、FM354.7、FM356.7、FM358.7、FM360.7、FM362.7、FM364.7、FM366.7、FM368.7、FM370.7、FM372.7、FM374.7、FM376.7、FM378.7、FM380.7、FM382.7、FM384.7、FM386.7、FM388.7、FM390.7、FM392.7、FM394.7、FM396.7、FM398.7、FM400.7、FM402.7、FM404.7、FM406.7、FM408.7、FM410.7、FM412.7、FM414.7、FM416.7、FM418.7、FM420.7、FM422.7、FM424.7、FM426.7、FM428.7、FM430.7、FM432.7、FM434.7、FM436.7、FM438.7、FM440.7、FM442.7、FM444.7、FM446.7、FM448.7、FM450.7、FM452.7、FM454.7、FM456.7、FM458.7、FM460.7、FM462.7、FM464.7、FM466.7、FM468.7、FM470.7、FM472.7、FM474.7、FM476.7、FM478.7、FM480.7、FM482.7、FM484.7、FM486.7、FM488.7、FM490.7、FM492.7、FM494.7、FM496.7、FM498.7、FM500.7、FM502.7、FM504.7、FM506.7、FM508.7、FM510.7、FM512.7、FM514.7、FM516.7、FM518.7、FM520.7、FM522.7、FM524.7、FM526.7、FM528.7、FM530.7、FM532.7、FM534.7、FM536.7、FM538.7、FM540.7、FM542.7、FM544.7、FM546.7、FM548.7、FM550.7、FM552.7、FM554.7、FM556.7、FM558.7、FM560.7、FM562.7、FM564.7、FM566.7、FM568.7、FM570.7、FM572.7、FM574.7、FM576.7、FM578.7、FM580.7、FM582.7、FM584.7、FM586.7、FM588.7、FM590.7、FM592.7、FM594.7、FM596.7、FM598.7、FM600.7、FM602.7、FM604.7、FM606.7、FM608.7、FM610.7、FM612.7、FM614.7、FM616.7、FM618.7、FM620.7、FM622.7、FM624.7、FM626.7、FM628.7、FM630.7、FM632.7、FM634.7、FM636.7、FM638.7、FM640.7、FM642.7、FM644.7、FM646.7、FM648.7、FM650.7、FM652.7、FM654.7、FM656.7、FM658.7、FM660.7、FM662.7、FM664.7、FM666.7、FM668.7、FM670.7、FM672.7、FM674.7、FM676.7、FM678.7、FM680.7、FM682.7、FM684.7、FM686.7、FM688.7、FM690.7、FM692.7、FM694.7、FM696.7、FM698.7、FM700.7、FM702.7、FM704.7、FM706.7、FM708.7、FM710.7、FM712.7、FM714.7、FM716.7、FM718.7、FM720.7、FM722.7、FM724.7、FM726.7、FM728.7、FM730.7、FM732.7、FM734.7、FM736.7、FM738.7、FM740.7、FM742.7、FM744.7、FM746.7、FM748.7、FM750.7、FM752.7、FM754.7、FM756.7、FM758.7、FM760.7、FM762.7、FM764.7、FM766.7、FM768.7、FM770.7、FM772.7、FM774.7、FM776.7、FM778.7、FM780.7、FM782.7、FM784.7、FM786.7、FM788.7、FM790.7、FM792.7、FM794.7、FM796.7、FM798.7、FM800.7、FM802.7、FM804.7、FM806.7、FM808.7、FM810.7、FM812.7、FM814.7、FM816.7、FM818.7、FM820.7、FM822.7、FM824.7、FM826.7、FM828.7、FM830.7、FM832.7、FM834.7、FM836.7、FM838.7、FM840.7、FM842.7、FM844.7、FM846.7、FM848.7、FM850.7、FM852.7、FM854.7、FM856.7、FM858.7、FM860.7、FM862.7、FM864.7、FM866.7、FM868.7、FM870.7、FM872.7、FM874.7、FM876.7、FM878.7、FM880.7、FM882.7、FM884.7、FM886.7、FM888.7、FM890.7、FM892.7、FM894.7、FM896.7、FM898.7、FM900.7、FM902.7、FM904.7、FM906.7、FM908.7、FM910.7、FM912.7、FM914.7、FM916.7、FM918.7、FM920.7、FM922.7、FM924.7、FM926.7、FM928.7、FM930.7、FM932.7、FM934.7、FM936.7、FM938.7、FM940.7、FM942.7、FM944.7、FM946.7、FM948.7、FM950.7、FM952.7、FM954.7、FM956.7、FM958.7、FM960.7、FM962.7、FM964.7、FM966.7、FM968.7、FM970.7、FM972.7、FM974.7、FM976.7、FM978.7、FM980.7、FM982.7、FM984.7、FM986.7、FM988.7、FM990.7、FM992.7、FM994.7、FM996.7、FM998.7、FM1000.7

各6図書館分を制作

●A4海外紹介パネル

世界の海を聞いてみよう!
2022年 せかいこども海会議より

せかいの「うみ」は
どんな海?

ランチをしたり仕事終わりに
みんなで集まったりする
公園のような場所です。

ビーチスポーツの人気が高く
サンドボードなども
あります。

週末はよく海へ出かけてました。
散歩やランニングなど
楽しんでいます。

ブラジル
ブラジル・ナタール
バハマス

ドイツ
ドイツ・ベルリン

日本
日本・東京

世界の海を聞いてみよう!
2022年 せかいこども海会議より

世界の人々は海を守るために
何をしているの?

ビーチにはゴミ箱が設置され
毎日清掃車が来て
ゴミを回収しています。

生かすためのゴミ箱も
用意されています。
ゴミ箱から
ゴミを取り出しています。

ドイツ人はペットボトルを
必ずお店に返します。

ブラジル
ドイツ

世界の海を聞いてみよう!
2022年 せかいこども海会議より

海には
どんな生き物がいるの?

「タトゥー」というような
生き物が海にたくさんいます。
みんなとても
かわいいです。

世界の海鳥の1/4くらいが
ニュージーランドで
繁殖しています。

海ではたくさんの種類の生き物が
住んでいます。みんながそれぞれ
とても得意な得意です。

ニュージーランド

テーマごとに3種制作

せかいの海のおはなし展 図書館来館者数

会場	期間	せかいの海のおはなし展来場者数
石川県立図書館	8月20日～8月23日	161
金沢市立玉川こども図書館	8月27日～9月18日	3,800
金沢市立海みらい図書館	7月27日～8月15日	8,867
小松市立空とこども絵本館	7月14日～8月23日	1,150
野々市市立学びの杜ののいち カレード	7月15日～8月22日	21,900
かほく市立中央図書館	7月15日～8月20日	7,370
合計		43,248

せかいの海のおはなし展 所感

前年度の実績をベースに新しい図書館で開催することができ、県内で期間・開催地ともに展開を拡大することができた。

(2023年度新しく開催した図書館：玉川こども図書館／石川県立図書館)

夏休み期間中の図書館のオープンスペースでの企画展開催は、来館者にも注目されやすく、実際に来館者が展示をじっくり見る姿も多く見受けられた。しかし、展示スペースの規模感、各図書館の来場者特性による注目度の違いも感じられた。

次年度に新しい図書館での開催を計画する際は、図書館の特性と調整して進める必要がある。

2023年度は、プロジェクトから絵本のコメントをつけた選書数を厳選し、コメントパネルのサイズを大きくして展示した。

前年度に比べて、コメントパネルを目にとめる人も多く、より一層プロジェクトメッセージが伝わる内容となったと感じた。

また、展示ブースには2022年度開催した「せかいこども海会議」からの内容を抜粋した「世界の海事情」についてパネルで紹介し、世界の人と海のつながりを感じられる内容となった。

せかいの海のおはなし会

開催期間：2023年7月17日～8月27日

開催場所：石川県立図書館

金沢市立玉川こども図書館

金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館



せかいの海のおはなし会

「世界の海」とのつながりについて考える絵本のおはなし会を開催。
絵本の読み聞かせだけでなく、海の歌や、世界の海のクイズなども取り入れ、おはなしを聞くだけでない展開に工夫をし、「海」への好奇心を育む会として展開しました。

開催期間：2023年7月17日～8月27日中 全7回

開催場所：石川県立図書館

金沢市立玉川こども図書館

金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館

対象：幼児～小学生低中学年の親子

協力：石川県立図書館・金沢市立玉川こども図書館・金沢市立金沢海みらい図書館

小松市立空とこども絵本館・野々市市立学びの杜ののいち カレード・かほく市立中央図書館

石川子ども文庫連絡会

学びの杜ののいち カレード①

#プログラム

- ①「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ポート」活動の説明
- ②アースボールを用いた世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
- ③絵本の読み聞かせ
- ④実寸のイラストを用いた海の生き物紹介
- ⑤せかいの海のおはなし展の紹介

#おはなし会絵本リスト

- ・うみのむこうは / 作：五味太郎、出版社：絵本館
- ・せかいのはて / 再話：剣持弘子、脚本・絵：剣持晶子、出版社：童心社
- ・あっちむいてほい / 作：中村征夫、出版社：福音館書店
- ・ぺんぎんたいそう / 作：齋藤 槇、出版社：福音館書店

開催期間： 2023年7月17日10:30～

開催場所： お話会コーナー

参加人数： 21名

読み手： 石川子ども文庫連絡会



学びの杜ののいち カレード②

開催期間： 2023年8月6日10:30～
開催場所： オープンギャラリー
参加人数： 20名
読み手： 石川子ども文庫連絡会

#プログラム

- ①「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ポート」活動の説明
- ②アースボールを用いた世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
- ③絵本の読み聞かせ
- ④世界の色々なあいさつ紹介
- ⑤せかいの海のおはなし展の紹介

#おはなし会絵本リスト

- ・かりゆしの海 /作：まついのりこ、出版社：童心社
- ・うみへいったちいさなカニカニ /作：クリス・ホートン、訳：木坂涼 出版社：BL出版
- ・ペンギんたいそう /作：齋藤 槇、出版社：福音館書店



#参加者アンケートより

- ・海や魚について、もっと知りたいと思った。
- ・海にあるゴミのせいで魚たちが苦しんでいることを知った。
- ・海を大切に、ゴミを減らすことを子どもと一緒に考えたいです。(保護者)
- ・子どもにもわかりやすく、身近なところから問題意識が高まりました。(保護者)

小松市立空とこども絵本館

開催期間： 2023年7月23日10:30～
開催場所： 絵本館ホール 夢の本棚
参加人数： 38名
読み手： 小松市立空とこども絵本館司書

#プログラム

- ①「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ポート」活動の説明
- ②せかいの海のおはなし展の紹介
- ③アースボールを用いた世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
- ④絵本の読み聞かせ
- ⑤海に関する手遊び・ペープサート
- ⑥ペットボトルを利用したリサイクルおもちゃの紹介

#おはなし会絵本リスト

- ・なみ / 作：スージー・リー、出版社：講談社
- ・うみ ざざざ / 作：ひがしなおこ、絵：きうちたつろう、出版社：くもん出版
- ・なにがつれるかな / 作：藤本ともひこ、出版社：童心社
- ・ママとうみのやくそく / 作：コ・ヒヨン、絵：エヴァ・アルミセン、訳：おおたけきよみ、出版社：主婦の友社
- ・によるよるり / 作：とよたかずひこ、出版社：童心社
- ・アルバうつくしいうみをまもった100さいのさかな / 作：ララ・ホーソーン訳：新沢としひこ 出版社：教育画劇



かほく市立中央図書館

開催期間： 2023年7月30日11:00～

開催場所： 1Fお話の部屋

参加人数： 12名

読み手： やまんばおはなしの会

#プログラム

- ①「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ポート」活動の説明
- ②アースボールを用いた世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
- ③童謡「うみ」を歌おう
- ④絵本の読み聞かせ
- ⑤海の生き物の切り絵であそぼう
- ⑥せかいの海のおはなし展の紹介

#おはなし会絵本リスト

- ・うみやまがっせん／作：上沢謙二、絵：大島 英太郎、出版社：福音館書店
- ・ねずみのかいすいよく／作：山下 明生、絵：いわむら かずお、出版社：ひさかたチャイルド
- ・うみのおまつり／作：宮下 昌樹、画：長島 克夫、出版社：教育画劇



#参加者アンケートより

- ・うみにたくさんかいようゴミがあることをした。かいようゴミをひろっていきたい。
- ・うみをたいせつにしたい。
- ・おはなしかいがたのしかった。うみにいきたくなった。

金沢海みらい図書館

開催期間： 2023年8月12日10:30～

開催場所： 1F交流ホール

参加人数： 33名

読み手： 石川こども文庫連絡会

#プログラム

- ①「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ポート」活動の説明
- ②アースボールを用いた世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
- ③詩の朗読（「うみのてらんかい」より）
- ④絵本の読み聞かせ
- ⑤切り紙アート手遊び（船長さんのシャツ）
- ⑥ブックトーク（海の本の紹介）

#おはなし会絵本リスト

- ・スイミー /作：レオ＝レオニ、訳：谷川俊太郎、出版社：好学社
- ・プラスチックのうみ /作：ミシェル・ロード、
絵：ジュリア・ブラッドマン、訳：川上拓土、出版社：小学館
- ・Off to the Beach /作：Child's Play,Cocoretto、
出版社：Child's Play International
- ・すごいねみんなの通学路 /作：ローズマリー・マカーニー、
訳：西田佳子、出版社：西村書店



#参加者アンケートより

- ・しらなかったけど、このイベントでうみがたいへんなことになっていることをした。
- ・うみのことがしれてよかった。
- ・絵本を通して地球のプラスチック問題を知り、私のできることからしていこうと思えました。（保護者）

石川県立図書館

開催期間： 2023年8月20日10:30～
開催場所： こどもエリア
参加人数： 40名
読み手： 県立図書館司書

#プログラム

- ①「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ボート」活動の説明
- ②絵本の読み聞かせ
- ③せかいの海のおはなし展の紹介

#おはなし会絵本リスト

- ・うみのむこうは / 作：五味 太郎、出版社：絵本館
- ・プラスチックのうみ / 作：ミシェル・ロード、
絵：ジュリア・ブラッドマン、訳：川上拓土、出版社：小学館
- ・うみべのハリー / 作：ジーン・ジオン、絵：マーガレット・プロイ・グレアム、
訳：わたなべしげお、出版社：福音館書店



#参加者アンケートより

- ・絵本から海の大切さを学ぶことができた。(保護者)

玉川こども図書館

開催期間： 2023年8月27日11:00～

開催場所： おはなしの部屋

参加人数： 22名

読み手： 北陸大学 井上先生・留学生ボランティア

#プログラム

- ①「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ポート」活動の説明
- ②アースボールを用いた世界の海と海洋ゴミ問題のおはなし
- ③英語の手遊び
- ④世界の海のおはなし(留学生ボランティアより)
- ⑤演奏に合わせた英語絵本の読み聞かせ(日本語+英語)
- ⑥せかいの海のおはなし展の紹介

#おはなし会絵本リスト

- ・ The Storm Whale /作：Benji Davies、
出版社：Simon & Schuster Childrens Books
- ・ スイミー(英語版) /作・絵：レオ＝レオニ、出版社：好学社



#参加者アンケートより

- ・ うみでごみひろいとかをしたい。
- ・ 海を大切にしなければ。子どもたちのためにも。(保護者)
- ・ 温暖化の影響を身近に感じられた。(保護者)



せかいの海のおはなし会 参加者数

会場	期間	せかいの海のおはなし会来場者数
石川県立図書館	8月20日	40
金沢市立玉川こども図書館	8月27日	22
金沢市立海みらい図書館	8月12日	33
小松市立空とこども絵本館	7月23日	38
野々市市立学びの杜ののいち カレード	7月17日	21
野々市市立学びの杜ののいち カレード	8月6日	20
かほく市立中央図書館	7月30日	12
合計		186



せかいの海のおはなし会 所感

前年度の実績をベースに新しい図書館とも協力し、新たな団体と協力した「せかいの海のおはなし会」を開催することができた。読み手としての協力パートナーも、企画主旨に大きく賛同してくれ、「せかいの海のおはなし会」として“より深く海を知る”プログラム構成を組むことができた。

とは言え、「おはなし会」の参加者は幼児～低学年が主となるため、難しい内容となりすぎないようにプログラム構成に留意した。

- ・大きなアースボールを用いた海のおはなし（世界の海はつながっていることを、目で見えるように紹介）
- ・海岸で放置されてゴミとなるペットボトルやビニール袋の実物を見せながら、ゴミは海の生物よりも長く海に漂うというおはなしを構成に加えながら、世界の人と協力して海を守っていくことの大切さを話し、海の絵本の読み聞かせや、海を親しむプログラム（手遊びやペーパーサートなど）とつなげた。

せかいこども海会議

開催日時：2023年7月19日 / 8月6日 / 9月16日

開催場所：金沢市立玉川こども図書館

野々市市立学びの杜ののいち カレード

かほく市立中央図書館



せかいこども海会議

子どもたちが「世界の海」について考えるシンポジウムを開催。
世界の人は海でどんな過ごし方をしているのか、世界の海にはどんな生き物がいるのか、在日外国人ゲストのはなしを聞いた後、「自分たちが海を守るためにできること」について考えました。

開催期間：2023年7月19日 / 8月6日 / 9月16日

開催場所：金沢市立玉川こども図書館(9/16)

野々市市立学びの杜ののいち カレード(8/6)

かほく市立中央図書館(7/19)

対象：小学生以上のお子さま(親子参加可)

※事前申込制

協力：金沢市立玉川こども図書館・野々市市立学びの杜ののいち カレード・かほく市立中央図書館

かほく市立中央図書館

#「河北台中学校」と「メスキルヒ交換留学生」の特別プログラム

- ①挨拶、「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ポート」について
- ②絵本「プラスチックのうみ」の紹介(ドイツ語・日本語の両言語で)
- ③グループディスカッション：自己紹介
- ④グループディスカッション：わたしの国の海を紹介
- ⑤グループディスカッション：海を守るアイデア交換・発表
- ⑥クロージング
- ⑦河北台中学校とメスキルヒ交換留学生の自由交流

開催期間： 2023年7月19日16:00～

開催場所： 2F学習室

参加人数： 25名(河北台中学生+メスキルヒ交流留学生)

協力： かほく市教育委員会



#参加者アンケートより

- ・ドイツでは多くの方がマイボトルを使っていることにおどろいた。
- ・海をきれいにするために具体的にどんな行動をすればいいのか考えることができた。

開催期間： 2023年8月6日13:30～

開催場所： オープンギャラリー

参加人数： 16名

ゲスト： チョ ジヒョン(ニュージーランド)
エド ウィリアムス(オーストラリア)

学びの杜ののいち カレード

#プログラム

- ①挨拶、「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ポート」について
- ②ゲストの自己紹介（日本語&外国語）
- ③世界の海へのQ&Aトーク（海での過ごし方、海の環境問題への取り組みや海岸清掃などについて）
- ④クロージング、参加者が感じたことのシェア



#参加者アンケートより

- ・ さかなをだいじにしたいと思った！
- ・ 世界にもっと興味を持った。
- ・ せかいの海がとてもきれいで、この海が汚れずにいつまでもその環境が守られるようにしていきたいと思った。(保護者)
- ・ 世界には素敵な場所があり、それを守るためには一人ひとりができることをしていくことが大切だと、改めて学んだ。(保護者)
- ・ もっと環境問題にきちんと向き合わなければいけないという気持ちになった。自分ができると、社会全体で取り組まなければいけないことがあると思う。(保護者)

玉川こども図書館

開催期間： 2023年9月16日14:30～

開催場所： 交流ホール

参加人数： 18名

ゲスト： ハファエレリマ(ブラジル)
ジェyson(コロンビア)

#プログラム

- ①挨拶、「日本財団・海と日本プロジェクト」と「世界へ旅する絵本ボート」について
- ②ゲストの自己紹介（日本語&外国語）
- ③世界の海Q&Aトーク（海での過ごし方、海の環境問題への取り組みや海岸清掃などについて）
- ④クロージング、参加者が感じたことのシェア



#参加者アンケートより

- ・うみのゴミを少なくすれば、**海のいきものたちが元気にくらすことがわかった。**
- ・色んな国の海に、人がすてたゴミがたくさんあることを改めて知りました。ちいさなおかしのゴミなどでも、しっかりとごみ箱にすてて、**すこしでも海をきれいにするお手伝いをしたい**と思いました。
- ・**海の生き物たちも大切に守りたい**とあらためて思いました。
- ・生活の道具(ペットボトルやおむつ、釣り糸など)の寿命の長さに考えさせられた。**海のゴミについてもっと考えたい。**(保護者)

●せかいこども海会議参加申込フォーム



せかいこども海会議 参加申込

世界の人は海でどんな過ごし方をしているの?どんな生き物と出会うの?世界の人と一緒に海のおはなしをしながら考えてみよう。

【せかいこども海会議プログラム(予定)】

- ・ゲストの自己紹介(日本語&外国語)
- ・世界のことば・あいさつの紹介
- ・世界の海の文化の紹介クイズ (海でのあそび方、海に生きる生き物などを紹介)
- ・Q&A
- ・クロージング

● 7月19日(水) 16:00~17:30 かほく市立中央図書館
ゲスト:ドイツ・メスキルヒ市からきた交流学生

● 8月6日(日) 13:30~14:30 学びの社のいちカレード 市長ギャラリー
ゲスト:チヨさん(ニュージーランド出身、野々市市国際交流員)ほか

● 9月16日(土) 14:30~15:30 金沢市立玉川こども図書館 3階交流ホール
ゲスト:ハファさん(ブラジル・リオデジャネイロ出身)ほか

問い合わせ
「世界へ旅する絵本ポート」プロジェクト事務局
TEL 076-269-0750 (平日9時~17時/土日祝休)
mail ehonboath@niocon-ag.co.jp

参加申込日程 必須

参加するお子様のお名前 (漢字) 必須

参加するお子様のお名前(ふりがな) 必須

お子様のご年齢 必須

性別 必須
 男性
 女性
 その他

お住まい 必須

保護者の方は同意されますか。 必須
※小学生以下のお子様は保護者同伴をお願いします。

はい、同意します。
 いいえ、子どものみの参加です。

関係される保護者氏名 必須

ご連絡先メールアドレス 必須

ご連絡先電話番号 必須

備考・ご意見など 必須
※年間のゆかいな子どもたちの様子を掲載し、こちらにコメントください。

参加申込について下記事項についてご確認をお願いします。 必須

- ・参加人数が定員に達した場合、応募を前の順序でさせていただきます。
- ・中心を削ない理由で不参加される場合は、事前に事務局までご連絡ください。
- ・ワークショップで制作した作品は、児童センター・児童センターに寄贈されます。
- ・イベントの開催の相手は、記事と掲載レポートのなめ所費や郵費で変動します。掲載した写真はホームページでのイベントレポートや新聞記事、SNS等で紹介される場合がございます。ご了承ください。
- ・参加申込後いただいたメールアドレスに今後のプロジェクトについてご案内させていただきます。不要の場合は事務局へご連絡ください。
- ・会場内での飲食はできません。お飲み物が必要な場合は、別途するケトルサービスをご利用ください。
- ・予断せぬ理由で開催中止や延期となる場合は、お買いただいたメールアドレスへご連絡させていただきます。

確認しました

確認済みへ

©2017 NIOCON (株) | 076-269-0750



せかいこども海会議 参加者数

会場	期間	せかいの海のおはなし会来場者数
金沢市立玉川こども図書館	9月16日	18
野々市市立学びの杜ののいち カレード	8月6日	16
かほく市立中央図書館	7月19日	25
合計		59



せかいこども海会議 所感

2023年度は、前年度開催した「せかいこども海会議」のプログラムの規模を縮小し、開催地・開催数を増やして実施した。

「海外出身ゲストとの世界の海の文化交流」のプログラムをメインに、開催時間を約1時間に縮小した内容で開催。

各回2名以上の海外出身ゲストを招き、世界の人たちが海とどのように関わっているのか、どのような環境意識を持っているのかについて共有した。親子での参加が多く、海への興味・好奇心旺盛な子ども、環境教育について感度の高い保護者の参加が目立った。

7月の「かほく市立中央図書館」では、かほく市の姉妹都市であるドイツ・メスキルヒ市の交換留学生をゲストに迎え、ワークショップ形式で開催。8月の「学びの杜ののいち カレード」は、オセアニア（オーストラリア・ニュージーランド）出身のゲストを迎え、9月「玉川こども図書館」では、南米（ブラジル・コロンビア）出身のゲストを迎えて交流した。

ゲストの出身エリアによって、海や地球環境配慮に対する意識も大きく異なり、参加者への影響の差を感じた。

次回実施する際は、環境配慮の高いエリア出身のゲストの参加を特に意識したプログラム構成を計画したい。

いずれの会でも、世界の人々の意見を直接聞くことにより、どの参加者も「海洋問題」や「世界の海のつながり」について、当事者意識を強く感じる機会となったことが感じられた。

漂着モンスターワークショップ & 作品募集キャンペーン

開催日時：2023年8月10日 10:30～12:00

開催場所：金沢市立海みらい図書館
交流ホール

募集期間：2023年7月15日～9月30日



漂着モンスターワークショップ

絵本作家 竹与井かこさんと、「漂着物」をつかったモンスター作品づくりワークショップを開催。

参加者自らが拾ってきた「漂着物」を組み合わせ、海のモンスター作品をつくりそのモンスターのおはなしを想像しました。

ワークショップを通して、海の漂着物についての関心や知識を高め、海洋ゴミへの理解を高めるきっかけとなる機会となりました。

開催日 : 2023年8月10日 (木) 10:30~ (約90分/開場10:00)

参加人数 : こども33名、大人25名 ※事前申込 /小学生3年生以下は、保護者同伴

場所 : 金沢海みらい図書館 交流ホール

プログラム : ①挨拶・「日本財団・海と日本プロジェクト」と

「世界へ旅する絵本ボート」活動の説明

②ゲスト竹与井かこさん登場

③漂着物について考えよう(クイズ形式)

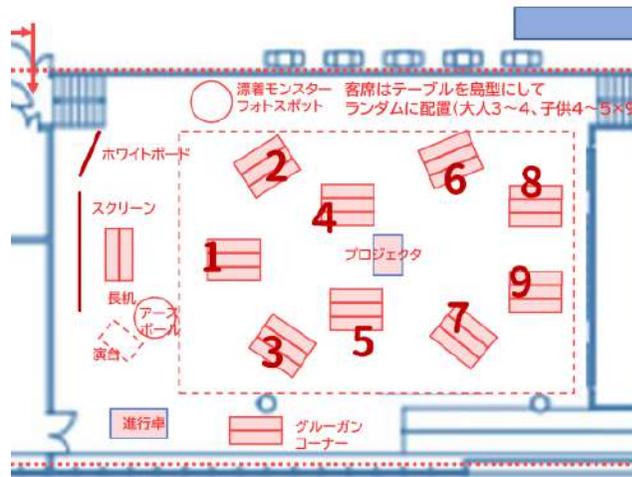
④漂着モンスターとその物語の創作

⑤みんなのモンスターにインタビュー

⑥クロージング

ねらい : 自分たちの海が、世界の海とつながっていることや、普段接している海のスケールの大きさを実感する。また、それら世界の海に触れる中で海洋問題にも写真で直面させ、自分のできるマイアクションをスタートさせる。

告知 : 金沢市、野々市市、小松市への小学校チラシ配布、かほく市LINE、図書館告知/プロジェクトWEBサイト



竹与井 かと

笹井信吾さん、畑中宝子さんによる絵本作家ユニット。石川県加賀市在住。





#参加者アンケートより

- ・ゴミをちゃんと捨てる。
- ・うみをもっとたいせつに**したくなった。**
- ・ただ**ポイ捨てをするだけで生き物が苦しむことにつながると分かった。** **ゴミ拾いにいきたい。**
- ・海洋ゴミ問題を**漂着モンスターをつくることでポジティブに解決していこうと考えることができた。**(保護者)
- ・ペットボトルや網が、海に漂う年数が想像以上に長くてびっくりした。このイベントのような伝え方をすると、**子どもにも伝わりやすいと思った。**(保護者)
- ・海の未来を守ること、子どもがいきいきできることは、**身近なことからできるということが分かった。**(保護者)

●漂着monster創作ワークショップ参加申込フォーム



漂着monster創作ワークショップ参加申込

海で拾った漂着物(ゴミ・海藻・貝殻など)をつかって
絵本作家の竹与井かさんと一緒に「漂着monster」をつくります。
海の世界を想像して「漂着monster」のおはなしについてかんがえてみましょう。

日時
2023年8月10日(木)10:30~12:00 (受付開始 10:00)

場所
金沢海みらい図書館 交流ホール

募集対象
小学生以上のお子さま
※3年生までのお子様は保護者同伴をお願いします。

募集人数
30名(60名様)

持ちもの
海で拾った漂着物(おうちで洗って持ってきてください。)
強いつでもOKです。

問い合わせ
「世界へ旅する絵本ポート」プロジェクト事務局
TEL 075-269-0750 (平日9時~17時/土日祝休)
mail ehonboat@nippon-ag.co.jp

参加するお子様のお名前 (漢字)

参加するお子様のお名前(ふりがな)

お子様のご年齢

性別
 男性
 女性
 その他

お住まい

保護者の方は同意されますか。
 はい、同意します。
 いいえ、子どものみ参加です。

同意される保護者氏名

ご連絡用メールアドレス

ご連絡用電話番号

備考・ご意見など

参加申込について下記事項についてご確認をお願いします。

- ・募集人数が定員に達した場合は、応募を締め切らせていただきます。
- ・お申し込み理由で不参加される場合は、事前に事務局までご連絡ください。
- ・ワークショップで制作した作品は「漂着monster」募集キャンペーンに応募できます。
- ・イベントの開催の他、正体と開催レポートのため写真や録音や録音します。撮影した写真はホームページでイベントレポートや新聞記事、SNS等で紹介される場合がございます。ご了承ください。
- ・参加申込を頂いたままメールアドレスと今後のプロジェクトについてご案内させていただきますが、お申し込みは事務局へご連絡ください。
- ・会場での飲食はできません。お飲み物が必要な場合は、持ち込みを推奨させていただきます。
- ・予断りなく中止や延期となる場合は、お申し込みいただいたメールアドレスへご連絡させていただきます。

確認しました

作品募集キャンペーン

海で拾った漂着物でつくったオリジナルの「漂着モンスター」作品募集キャンペーンを開催。
ご応募作品は、竹与井かこさんの監修のもと選考し、「ひょうちゃくモンスター」の絵本に掲載しました。

募集期間：2023年7月15日～9月30日（10月1日00：00AMをもってメ切）

告知方法：金沢市・野々市市・小松市内の全小学校へのリーフレット配布

協力6図書館でのキャンペーンポスター掲示、かほく市広報よりオンライン配信

応募方法：リーフレット・ポスター記載のQRコードの応募フォーマットより

応募総数：52作品

対象：石川県内の小学生・中学生

協力：竹与井かこ、金沢海みらい図書館

漂着モンスター作品応募方法



家族と海辺へ行き漂着物を集めよう。



きれいに洗った漂着物に顔をつけて「漂着モンスター」をつくってみよう。



できた漂着モンスターがどんな海の世界を生きてきたのかを想像して、名前と特徴を考えてみよう。



漂着モンスターの写真を撮影。モンスターの説明をつけてキャンペーン応募。



応募した漂着モンスターが選ばれると、絵本作家の竹与井かこさん監修の絵本の中で登場するよ。

●作品募集リーフレット



世界における海の絵本創作プロジェクト

8/10(木) 海あらい図書館でワークショップ開催

絵本作家 竹与井かこさんと絵本づくり

漂着モンスター 作品大募集

2023/9/30(土) まで

漂着モンスターが 絵本に登場!?

STEP 1 漂着モノをさがす

STEP 2 きれいに洗った漂着物に顔をつけて「漂着モンスター」をつくってみよう。

STEP 3 できた漂着モンスターがどんな海の生き物か想像して、名前と特徴を考えてみよう。

STEP 4 漂着モンスターの写真を撮り、モンスターの説明をつけてキャンペーン応募。

STEP 5 応募した漂着モンスターが選ばれれば、原作者の竹与井かこさんの絵本の即で登場するよ。

漂着モンスター作品応募方法

応募テーマ **あなたの「漂着モンスター」** ※あなたが海で拾った漂着物でつくったモンスター作品

作品募集期間 **2023年 7月15日(出)～9月30日(出)**

応募方法 上記のQRコードより応募フォーマットに沿って、応募ください。

応募資格 石川県内の小学生・中学生の方を対象とします。

応募まで 2023年10月1日0:00AMをもって必切とします。

完成絵本のお渡し モンスター作品が絵本に掲載された方を対象に、完成した絵本を1冊プレゼントいたします。

お問い合わせ 世界へ送る絵本ボートプロジェクトWEBサイト「問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。 <https://www.web.hokkoku.cc.jp/ehonboat/>

※その他注意事項については応募詳細URLをご覧ください。

●応募作品一例



●漂着モンスター作品申込フォーム



漂着モンスター作品応募申込

「世界へ旅する絵本ポート」が実施する世界へおくる絵本創作プロジェクト。
絵本作家竹与井かこさんとつくる「漂着モンスター」の絵本に登場する「あなたの漂着モンスター」を募集します。

絵本採用に選ばれた漂着モンスターは、絵本作家の竹与井かこさんが監修する絵本の中で登場。
完成した絵本は、「石川県子どもたちの絵本」として、海を守る呼びかけのメッセージとともに海外の図書館に寄贈されます。

募集テーマ
あなたの「漂着モンスター」
※あなたが海で拾った漂着物(ゴミ・海藻・貝殻など)でつくったモンスター作品

応募資格
石川県在住の小学生～中学生(15歳以下)を対象とします。
※おひとり何回でも応募できます。

応募期間
2023年7月15日～9月30日 (10月1日0:00〆切)

応募方法
下記応募フォーマットを必要事項入力して応募してください。
作品写真&作品(モンスター)の説明(なまえ・年齢・特技・コメント)が作品の対象となります。

作品の選考
応募いただいた作品より10～20作品を絵本掲載作品として採用を予定しております。
掲載採用の発表は2023年10月末頃、メールアドレスにご連絡させていただきます。

掲載採用の選考基準
漂着モンスターの写真や、モンスターの説明文などから海の世界が想像できるユニークな作品を選考いたします。
作品の掲載選考は、絵本監修となる作家竹与井かこさん及び石川県の絵本事業関係者とともに選考いたします。

絵本のお返し
完成した絵本は、作品が掲載採用された方を対象に、1冊プレゼントいたします。
絵本の発送は、2024年2月を予定しております。
※完成した絵本は、石川県内への図書館のほか、海外交流事業として、石川県が交流する海外都市の図書館へ寄贈されます。販売の予定はございません。

応募要項

- ・作品は、海拾った漂着物(ゴミ・海藻・貝殻など)を使って制作してください。
- ・マジックペンの使用やモールやビーズなどの装飾をしないでください。
- ・本キャンペーンへの応募については、重複者による同意が必要となります。
- ・おひとり様何回でも応募できます。
- ・応募作品の掲載採用の発表は2023年10月末頃を予定しております。
- ・作品が選考された場合、写真の再撮影をされる場合があります。作品の現物は10月末まで保管をお願いします。



The screenshot shows a digital version of the application form. It includes sections for:

- 応募者情報 (Applicant Information):** Fields for name, email, and phone number.
- 作品情報 (Work Information):** Fields for the monster's name, age, and special skills.
- 作品写真 (Work Photo):** A section for uploading a photo of the monster.
- 作品説明 (Work Description):** A text area for describing the monster.
- 応募要項 (Terms and Conditions):** A scrollable area containing the same rules as the printed form.
- 応募ボタン (Apply Button):** A large blue button at the bottom.

Blue 'ヘルプ' (Help) icons are visible on the right side of the form.



漂着モンスターワークショップ&作品募集キャンペーン 所感

前年度開催した「せかいこども海会議」の開催後のアンケートより「実際に海に行って行動したい」という感想が寄せられ、「世界へ旅する絵本ポート」プロジェクトでは「ゴミ拾いイベント」ではない企画として、「漂着モンスターの創作」を企画し、実施した。

ワークショップ、キャンペーン共に「参加者が実際に海で拾ってきたゴミ」を素材として「漂着モンスター（海洋ゴミでできたモンスター）」を制作し、その「漂着モンスター＝海洋ゴミ」が“どのようにして海岸に流れ着いたか”、“海の中でどのように漂っているのか”を想像させる内容とした。

参加者は、実際に「自分で海岸でゴミ拾いする」機会を創出することにより、身近な海における海洋ゴミの現状を目の当たりに感じる事ができたようだ。参加者アンケートでも「想像以上に海にゴミがたくさんあることを知った」「海に大きな枕が落ちていてびっくりした」という感想もあった。

「自分が行動して海洋ゴミを拾い、身近な海に目を向け、それらと向き合う」という、このキャンペーン（及びワークショップ）のプログラムの構成は、参加者が「海洋ゴミ」について深く触れ合い、自ら考える機会として、プロジェクトのメッセージが強く伝わるコンテンツとなった。

「おはなしを聞いて学ぶ」だけでなく、「創作ワークショップ」のエンターテインメント性も併せ持つことにより、幅広い層へのアプローチが成功したと思う。

実際に参加応募多数のため、参加できなかった人も多かった。

大変有意義でメッセージが伝わるコンテンツのため、今後の拡大方法について検討していきたい。

絵本制作 & 海外図書館交流

- ・石川県の子どもたちの「漂着モンスター」作品が登場する絵本を制作
- ・海外姉妹都市の図書館へ寄贈し、企画展示を展開



絵本制作 & 海外図書館交流

「漂着モンスター」作品募集キャンペーンで応募いただいた作品を、竹与井かこさんの監修のもと
選考し、それらが登場する1冊の絵本として制作。

制作絵本は海外姉妹都市の図書館へ寄贈し、企画展示を行いました。

寄贈図書館：アメリカ/Bufalo and Erie County Public Library

ブラジル/EMEF ネウサ・グーラート・ブリゾラ校

EMEF ジルベルト・ジョルジ・ゴンサルヴェス・ダ・シルヴァ校

EMEF マリオ・キンタナ校、EMEF アナ・イリス・ド・アマナル校、ポルト・ノーヴォ市立小学校

ベルギー/Bibliotheek De Krook

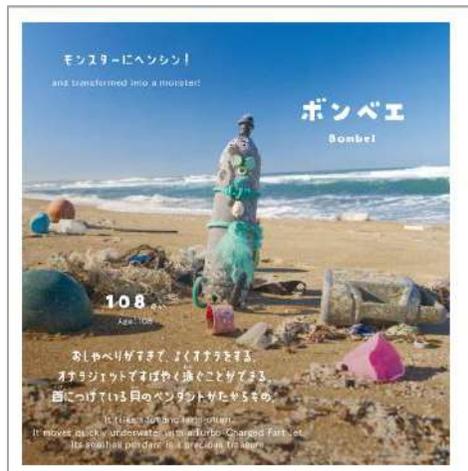
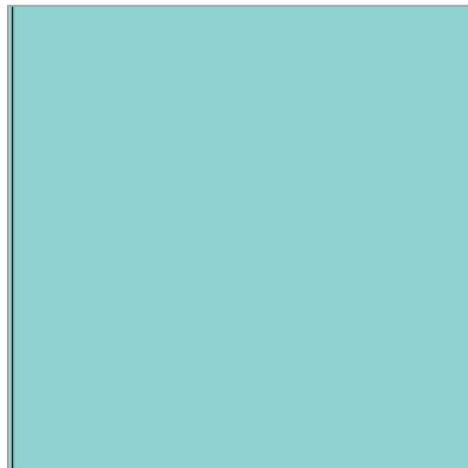
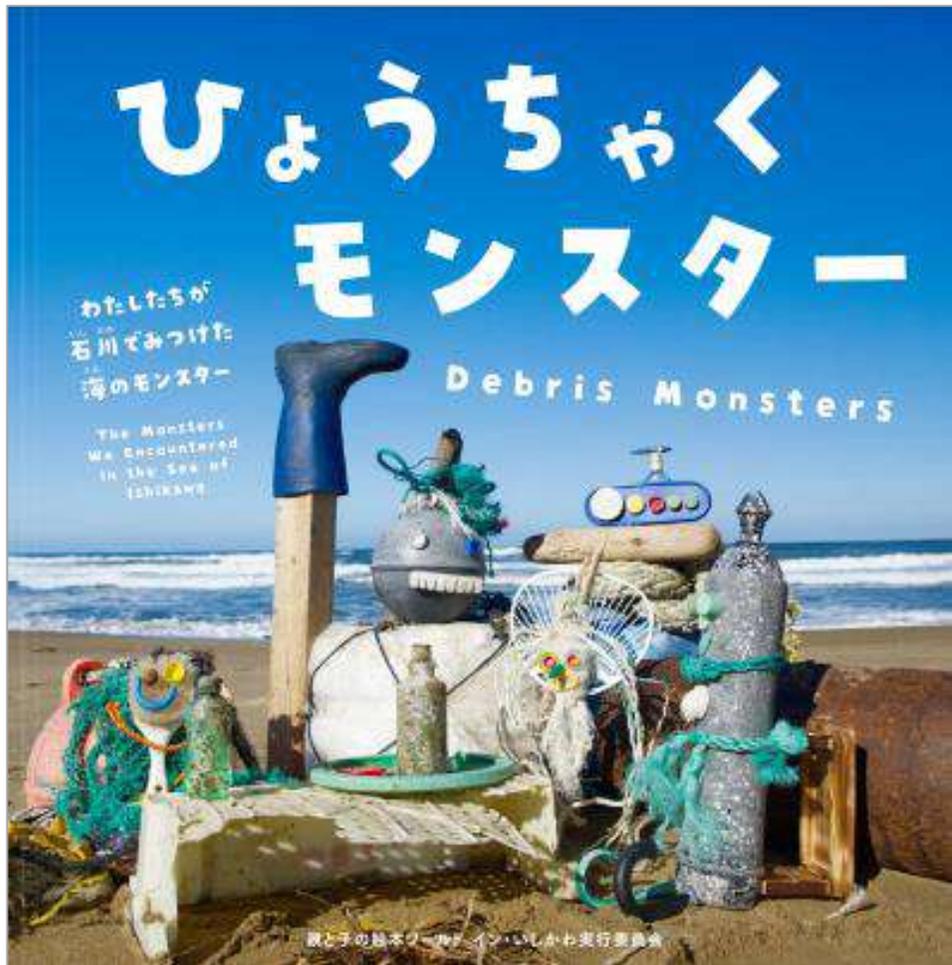
フランス/ナンシー自然博物館、ナンシー大学病院こども病院図書館

韓国/全州市立図書館コッシム

ニュージーランド/HB Williams Memorial Library

絵本制作協力：竹与井かこ(監修・文・絵) 吉田 憲司(デザイン)

●制作絵本 概要





21 さい
Age: 21

ミーゴとコミ
Migo & Komi

ミーゴは 面白い ひょうちやくそんすたー とある 海 の ゆうしや、 やさしくて しゃべりが うまい、 海 の 王さま になって、 きれいな海 と つく の ギ やめ、

Migo is a sea hero defeating bad Debris Monsters. It is very kind and a good talker. It dreams of becoming the king of the sea and creating a beautiful ocean.

コミは ミーゴ といっしょに 旅 している、 小さいけど、 くいしんぼうで、 大波 と つくる ことが できる、 いったい に いったい の わたあめ と なる の ギ やめ、

Komi travels with Migo. It is small but a big eater, and can create huge waves. It dreams of eating rainbow-coloured cotton candy someday.

とまだらとの旅は 大のしとらじやな、
A journey with friends sounds like a lot of fun. doesn't it?

Created by 957 (Iberil)



66 さい
Age: 66

モジャリンとヒモリン
Mojarin & Himorin

いつも ふたりいっしょで せかいの海 を 旅 している、 しゃべって 人を わらわせる の ギ だよ、 てきわちない 海 の いきものが いっぱい、 あるまじやめて つつまえて ヒーベしやう、

Always together, they travel the world's seas. They love chatting and making people laugh. However, if there is a sea creature that doesn't laugh, they catch it with a big net and eat it.

リュージュ Luge

いつもは 海 で ゆったり 泳 いているが、 まがくとくに 人 びんのいっしょに におき ます われる、 とおことも なる こと とき、 空 や よくなった 5 毛 と ため て うれしい まま ちと なる わ、

It usually enjoys swimming in the sea, but sometimes it will appear in people's gardens. It is skilled in both flying and walking. When you become friends, it shows its happiness by raising its fur.

1 おく さい
Age: 100 Million

Created by 6664 (Mitsuru)



こめすけ
Komesuke

いつもは ブカブカ 海 に うかんでいる、 ときどき 陸 に 寄 ってきて、 田んぼ の ようすを おまきっている、

It is always floating and bobbing in the sea. Sometimes it comes ashore to check on the rice fields.

海 の 風景 は ぜんぜん よくない、 おしにも 聞かされてくれ、
What's the situation like in land? Please tell me about it.

88 さい
Age: 88

Created by 4797 (Yusaku)



ピコザメ
Piko Shark

よごれた 海 で うまれたので、 きれいな海 と できている、 よくに やつどうする、 ちまたい ときに、 まわりの ガガア に じゃまを される、 ボタンを ビコビコ させて みる ことが できる、

Born in a polluted sea, it is searching for a clean one. It is active during the night. If bothered by other fish when sleeping, it startles them by prancing a button.

いつかきれいな海 が 見つかる といひのよ、
I hope to find a beautiful sea someday.

8 さい
Age: 8

Created by 123 (Ruka)



68 さい
Age: 68

ふたごみ シーモンスターズ
Twin Sea Monsters

いつもは 砂 の なかに かく っていて、 ひとが すぐ かくと 出 て きて ころばせる、 あまを はやく ぼる ことが でき、 かわがたが ぬたれると、 すぐ じつ あちこて じやう、

Usually hiding in the sand, they come out and trip unsuspecting people walking by. They are skilled at quickly digging holes. If their hairdryer gets messed up, they feel down for a few days.

ふふ、 ふたごみ いたずらっとな かめをしとる、
Hmm, both of you have mischievous expressions on your faces.

Created by 6664



とけいドラゴン
Clock Dragon

110 さい
Age: 110

じふんの たまごを たいげつに まもっている、 タイムトラベルが できる と けて、 そかして みるいの海 を いったりまたり している、

It cherishes and protects its own egg. Using a time-travel clock, it explores the seas of the past and future, going back and forth.

むかし の 海 にも モンスター がい いるんじやないか?
I wonder if there were monsters in the ancient sea.

48 さい
Age: 48

Created by 545 (Ripi)



あんくるピーロー
Uncle Pillow

とろくの 量 が 地球 に やって来た、 ちまたい ころが ちいさな 海 の、 ずっと くらしている、 アンテナで 時々 地球 が どんどころ ばっしんしている、

It arrived on Earth from a distant star. Since it loves blue places, it broadcasts what Earth looks like to its friends.

あぶおじさん
Uncle Abu

ピンチの時は、 すぐに かけつけてくれる まほうつかい、 ゴミを ちぎって いくと、 カラダが 大きくなるが、 大きくなりすぎたら また ちがく なる、

A wizard who quickly comes to the rescue in times of trouble. Collecting rubbish causes its body to grow, but if it becomes too large, it will sprout again.

1 おく さい
Age: 100 Million

Created by 4797 (Yusaku)



タコセンプウ
Octo Fan

風の なまを じゆうじで いく うごいて、 まわりの ゴミを ちぎる ことが できる、 よろこぶと ゴミを すいて ちぎる、 ちぎると ちぎる スミを ちぎる、 10本の ちぎる ちぎる、 ガサガサ している、

It moves freely in the water, creating wind as it moves around. When happy, it inhales rubbish, and when angry, it spits ink from its mouth. Its 10 legs are prickly and make a scratchy sound when they rustle.

プププ、 おしのオナラジュウと じやうぶじや!
Puff, puff, you compete with my fart fan!

2023 さい
Age: 2023

Created by 6664 (Ruka)



927

イザナミノ・ハクリュウ

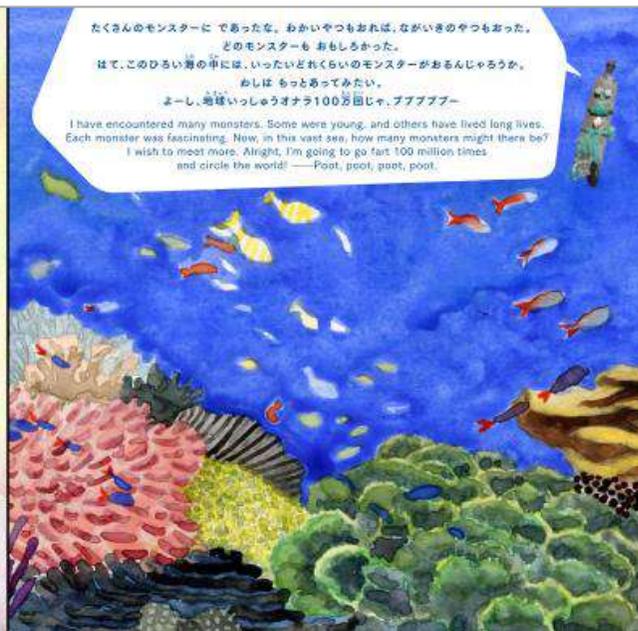
Izanamino Hakuryu

そのうつくしい歌声をきいてみたいのよ。
海でそっと耳をすましてみよう。
I want to hear that beautiful singing.
Let's quietly listen in the sea.

海をさまよううちに
リュウになったが、にんげんに
みつかったらゴミにぎたいたする。
ハクリュウはあかあかして、
そのこもり歌をきいたにんげんは、
あまりのうつくしさに
海をきれいにしようとおもう。

Once a wanderer of the sea,
It transformed into a dragon.
If discovered by humans, it disguises itself
as debris. Hakuryu's motherly lullaby
inspires humans to clean the sea
with its extraordinary beauty.

Created by Rilke



たくさんのモンスターにであつたな。わかいやつもおれば、ながいきのやつもあった。
どのモンスターも おもしろかった。
ほて、このひろい海の中には、いったいどれくらいのモンスターがおるんじやろうか。
かしは もっとあつてみたい。
よーし、地球いっしょうオナラ100万回じゃ、ププププー

I have encountered many monsters. Some were young, and others have lived long lives.
Each monster was fascinating. Now in this vast sea, how many monsters might there be?
I wish to meet more. Alright, I'm going to go fart 100 million times
and circle the world! —Poot, poot, poot, poot.

わたしたちが「ひょうちゅくモンスター」をつくりながら考えたこと What went behind creating "Debris Monsters"

2023年の夏休み、石川県の子どもたちが近くの海岸で漂着物を集めました。
海で拾った漂着物から生み出されたのは、個性あふれる漂着物モンスターたち。
できた漂着物モンスターには名前をつけ、そのモンスターは海の中でどうやって過ごしていたのかを
想像しながらおぼえしをつくりました。
いろんなかたちの漂着物と触れながら、わたしたちは海についていろんなことを思いました。
この海は世界とつながるたったひとつの海だからこそ、
世界のみんなと一緒に、この海を守ってみたいと思います。

In the summer vacation of 2023, children in Ishikawa Prefecture picked up random debris on a nearby beach.
From the items collected at sea, unique Debris Monsters were born. We gave names to the Debris Monsters
and created stories by imagining how those monsters spent their time under the sea.
While interacting with various debris, we contemplated many things about the sea.
As this sea connects all of us in the world, we want to join hands with everyone worldwide to protect and cherish it.



ゴミは昔も今も変わっているかもしれない。
日本のゴミも色々な国に行っているかもしれない。(11歳)
I think rubbish may come from various countries,
and Japanese rubbish may also be going to different
countries. (Age:11)

みんなが持ってきたぶんだけ
ゴミが落ちていたということなので、悲しい。
これからちゃんとかみほごみ箱に捨てたい。(10歳)
It's sad that everyone brings their rubbish to the beach
and leaves it behind.
From now on, I want to make sure
I throw away rubbish properly in the bin. (Age:10)

海には、いろんなものがあって、
いろんなものがつくれそうだと感じた。
ただ海の魚にとっては
ゴミの危機が、いっぱいだと感じた。(7歳)

The sea has many things,
and I thought we could create various things.
However, I realized it's full of dangers for the fish
in the ocean due to all the rubbish. (Age:7)

海辺に、でっかい枕が落ちていて
びっくりしました。(7歳)

A giant pillow had washed ashore,
and it surprised me. (Age:7)



ゴミが海に多すぎると思った。
地球全体では、もっと多いだろうし、
家で減らしていかないといけないと思った。(11歳)

I think there is too much garbage in the sea.
I believe there is even more worldwide,
and we need to reduce it together. (Age:11)



●絵本寄贈先姉妹都市一覧

	姉妹都市	国名	提携年	受入	展示	図書館名
1	バッファロー市	アメリカ合衆国	1962	可	可	Buffalo and Erie County Public Library
2	ポルト・アレグレ市	ブラジル連邦共和国	1967	可	可	6図書館を巡回 1.EMEF ネウサ・グーラート・ブリゾラ校 2.EMEF ジルベルト・ジョルジ・ゴンサルヴェス・ダ・シルヴァ校 3.EMEF マリオ・キンタナ校 4.EMEF アナ・イリス・ド・アマナル校 5.ポルト・ノーヴォ市立小学校
3	アントワープ市	ベルギー王国	1971	可	可	Bibliotheek De Krook
4	ナンシー市	フランス共和国	1973	可	可	ナンシー自然博物館 ナンシー大学病院こども病院図書館
5	全州市	大韓民国	2006	可	可	全州市立図書館コッシム
6	ギズボーン市	ニュージーランド		可	可	HB Williams Memorial Library

(7) ドイツ・メスキルヒ市：2024年夏にかほく市の交換留学生在が現地へ持参を予定

●寄贈パネル

Dear Friends,
From Ishikawa, Japan

Here in Ishikawa Prefecture, children spend every summer playing in the nearby sea.
During the summer vacation of 2023, children picked up random debris found on a nearby beach.
From the items collected at sea, unique Debris Monsters were born. We gave names to the Debris Monsters and created stories by imagining how these monsters spent their time under the sea.
While interacting with various debris, we contemplated many things about the sea.



As this sea connects all of us in the world, we want to join hands with everyone worldwide to protect and cherish it.





英語、ポルトガル語、フランス語、
オランダ語、韓国語の各5か国分を制作

●翻訳冊子

日本
海島
プロジェクト

Monstrinhos de Lixo
Os Monstrinhos que Encontramos no Mar de Ishikawa



世界へ
旅する
絵本ポート



Sobre o Projeto

O projeto "Barco de Livros Ilustrados Viajando ao Redor do Mundo" visa ampliar o interesse das crianças pelos mares do mundo através de livros ilustrados e compartilhar a importância de nos unir para proteger os oceanos.

BOMBEI / 108 anos



Transformados em monstro!

Bombei / 108 anos
Fala muito e solta muito pum.
Nada muito rápido debaixo d'água com seu Jato-Turbo de Pum.
O seu colar de concha é o seu tesouro precioso.

O que levou à criação de "Monstrinhos de Lixo":
Nas férias de verão do ano de 2023, as crianças da província de Ishikawa coletaram fragmentos de lixo plásticos em uma praia próxima.
Dos itens coletados do mar, nasceram monstros de lixo ilustrados.
Damos nomes aos monstros de lixo e criamos histórias imaginando como esses monstros passavam seu tempo no fundo do mar.
Ao interagir com vários fragmentos de lixo, refletimos muitas coisas sobre o mar.
Justamente porque o mar conecta todos nós no mundo todo, pedimos todos nós dar a mão e proteger os oceanos.

**Prezados amigos,
De Ishikawa, Japão**

Prezados amigos, De Ishikawa, Japão

Na Província de Ishikawa, vivemos muito próximos do mar.
Todo ano no verão as crianças brincam no mar.

No Japão, existem muitos livros ilustrados sobre o mar.
Esses livros nos contam sobre o mundo do outro lado do oceano e sobre o desconhecido mundo no fundo do mar.
Através de livros ilustrados, nossas impressões sobre nossos mares e oceanos chegam aos amigos que moram do outro lado do mar.
Esperamos poder tomar medidas para proteger nossos oceanos junto com todo o mundo.



ポルトガル語、フランス語、オランダ語、韓国語の各4か国分を制作

●ベルギー・アントワープ市Bibliothèque De Krook担当者からのメール一部抜粋

The book has just arrived! Thank you very much.

It's a beautiful book and we will do a little exposition in our children's library.

Thank's a lot for the little book with translations in Dutch. We like it a lot!

When we do the exposition I will send you the pictures.



関連イベント

開催期間：2023年9月23日/10月22日

開催場所：イオンモールかほく(9/23)

イオンモール新小松(10/22)

募集告知：北國新聞広告



関連イベント

主に図書館を拠点に実施してきた活動を、週末の大型商業施設まで拡大し、イベントを開催。図書館という枠組みを超えることによって、より多くの人々にプロジェクトを周知し、海を守ることの大切さを届けました。

開催期間：2023年9月23日/10月22日

開催場所：イオンモールかほく(9/23)

イオンモール新小松(10/22)

募集告知：北國新聞広告

内容：せかいの海のおはなし展、せかいの海のおはなし会、関連ワークショップ
参加費無料、事前申込不要

協力：イオンモールかほく、イオンモール新小松

 **関連イベント告知広告**

●イオンモールかほくイベント告知広告(半5段・5段)

未来のために、楽しもう! イオンモールのSDGsフェス

「みんなの海」を考えよう

日時 9/23(水) 24(木) 10:00~17:00
会場 イオンモールかほく 1F グリーンコート

世界へ旅する絵本ポート 参加無料
せかいの海のおはなし展

9/23(水) 参加無料
世界へ旅する絵本ポート
せかいの海のおはなし会
いしかは絵本専門士の会とらいあんぐる
日時 011:00~013:00~015:00

9/24(木) 参加無料 先着150名後
廃材サンドアート
ワークショップ
日時 10:00~16:00

イオンモールかほくは「世界へ旅する絵本ポート」のプロジェクトを応援しています。

AEON MALL イオンモールかほく TEL.076-289-1001

世界へ旅する絵本ポート さあ 海のむこうの仲間と出会う旅へ

「世界へ旅する絵本ポート」は「絵本」を通じて、子どもたちの「世界の海」への興味を広げ世界と協力して海を守ることの大切さを届けるプロジェクトです

The "World Traveling Picture Book Boat" aims to get children interested in the world's oceans, using picture books to share the importance of working together to protect our oceans.

せかいの海のおはなし展
世界の海の絵本を県内図書館や民間施設で紹介しています。

せかいの海のおはなし会
海の絵本のおはなし会しながら、世界の海の課題をおはなししています。

せかいこども海会議
日本の外の世界の人々が海とどのように親しんでいるか質問して聞いています。

世界における絵本制作と海外図書館交流
お国のこどもたちの海への思いを絵本にして海外の図書館へ届けます。

9/30(日) 午後1時~5時
また間に合う! 漂着モンスター作品募集中

絵本作家 竹井かおさんと絵本づくり 世界における海の絵本プロジェクト

TEL.076-269-0750

●イオンモール新小松イベント告知広告(半5段・5段)

10/21~29 イオンモール新小松 親子で参加できる

秋のイベント

10/21&22&28&29
ハッピー・ハロウィンおかしプレゼント!
トリックオアトリックめしあわせでキャンディをプレゼント!

10/28&29
仮装をして館内をハロウィンパレード!
マジックミュージック、おかしプレゼントも用意して開催中!

10/22(日) 世界への海をの絵本を読もう!
は読書の秋 (with 世界へ旅する絵本ポートプロジェクト) 1F 映画館

せかいの海のおはなし展
日時 10:00~17:00

せかいの海のおはなし会
日時 いしかは絵本専門士の会とらいあんぐる
日時 012:00~013:30~015:00

シーグラスアートワークショップ
日時 10:00~16:00

イオンモール新小松は「世界へ旅する絵本ポートプロジェクト」を応援しています。

AEON MALL イオンモール新小松 923-0862 石川県小松市海六町315番地
営業時間 10:00~21:00 代表番号 0761-20-8530(代番)
HP https://shinkomatsu-aeonmall.com/

世界へ旅する絵本ポート さあ 海のむこうの仲間と出会う旅へ

「世界へ旅する絵本ポート」は「絵本」を通じて、子どもたちの「世界の海」への興味を広げ世界と協力して海を守ることの大切さを届けるプロジェクトです

The "World Traveling Picture Book Boat" aims to get children interested in the world's oceans, using picture books to share the importance of working together to protect our oceans.

せかいの海のおはなし展
世界の海の絵本を県内図書館や民間施設で紹介しています。

せかいの海のおはなし会
海の絵本のおはなし会しながら、世界の海の課題をおはなししています。

せかいこども海会議
日本の外の世界の人々が海とどのように親しんでいるか質問して聞いています。

世界における絵本制作と海外図書館交流
お国のこどもたちの海への思いを絵本にして海外の図書館へ届けます。

みなさんからの たくさんの「漂着モンスター」が集まりました。 Thank you!
ご応募いただき、ありがとうございます。

TEL.076-269-0750

イオンモールかほく

開催期間： 2023年9月23日～9月24日

開催場所： 1Fグリーンコート

開催内容： せかいの海のおはなし展、せかいの海のおはなし会
廃材サンドアートワークショップ



イオンモール新小松

開催期間： 2023年10月22日

開催場所： 1F祭広場

開催内容： せかいの海のおはなし展、せかいの海のおはなし会
シーグラスアートワークショップ



A blue-toned photograph of a forest interior. Sunlight filters through the trees, creating a dappled light effect on the forest floor. The text 'メディアパブリシティ' is overlaid in the center.

メディアパブリシティ



海テーマの絵本並ぶ

小松・おはなし展始まる

絵本を通じて子どもたちに世界の海に興味を持ってもらうプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親と子の絵本ワールド・イン

いしかわ実行委員会、北國新聞社主催）の「せかいの海のおはなし展」は14日、小松市空と子ども絵本館を皮切りに始まった。

日米など10カ国の作家が手掛けた海にまつわる絵本13冊が並び、生物保護の大切さを伝えた。本棚には職員が作った折り紙のタコやイカが飾り付けられ、海中の空間を演出。来場者を物語の世界へ引

海にまつわる絵本が並ぶ会場＝小松市空と子ども絵本館

海の絵本を読み聞かせ

野々市、紙芝居も披露

絵本を通じて海に対する子ども興味を高めるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親と子の絵本



海に関する紙芝居を楽しむ親子
＝野々市市学びの杜のいちカレード

の杜のいちカレードで開かれ、親子ら約20人が海にちなんだ絵本の読み聞かせを楽しんだ。

子どもたちは参加型絵本「うみがのこ」を手に「うは」を読み聞かせ、紙芝居「せかいのはて」を披露した。

体を動かして「アースボール」と呼ばれるビニール製の地球儀で海の広さを確かめた。

おはなし会は、小松市立空と子ども絵本館23日、かほく市立中央30日、カレド（8月6日）金沢海みらい（同12日）石川県立同20日）五川子ども同27日の各図書館でも開かれる。絵本ポートは9月30日まで県内6図書館を主会場とする。世界とつながる海をテーマにしたイベントを通じ、世界と協力を促す。日本財団海と日本プロジェクトの助成事業として。

海洋ごみで アート作り

海みらい図書館

子どもの海に対する興味を上げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親と子の絵本ワールドイン・いしかわ実行委員会、北國新聞社主催）の創作ワークショップは10日、金沢海みらい図書館で開かれ、親子35組70人が海洋ごみを使ってアート作りに挑戦した。

児童は家族と一緒に、壊れた

「世界へ旅する絵本ポート」



漁具や容器、貝殻、木材などを使って、魔法使いやウィウシなど各自でテーマを決めて「漂着モンスター」を作った。絵本作家ユニット「竹与井かこ」が指導した。廃タイヤなどを使って動物をかたどったモンスターを作った伏見台小1年の清水智晴君（6）は「海を大切にしたい」と話した。

今後、児童の作ったモンスターから着想を得た絵本が製作され、各国に届けられる予定。海洋ごみを使ってモンスターを作る参加者 ― 金沢海みらい図書館

2023.08.11 北國新聞朝刊



読み聞かせで海に関心

絵本を通じて子どもの海に対する興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親と子の絵本ワールドイン・いしかわ実行委員会、北國新聞社主催）の「せかいの海のおはなし」は22日、小松市のイオ

絵本の読み聞かせを楽しむ親子
― 小松市内の商業施設

小松・世界へ旅する絵本ポート

ンモール新小松で開かれ、親子が海にちなんだ絵本の読み聞かせを楽しんだ。

「いしかわ絵本専門士の会とらいあんぐる」の赤池恵理子代表らが「スイミー」など4冊を情豊かに朗読し、英語を取り入れた手遊びも披露した。シークラスを使った作品制作も行われた。会場には海に関する絵本17冊が展示された。

2023.10.23 北國新聞朝刊

絵本を通して、子どもの海に対する興味を広げるプロジェクト「世界へ旅する絵本ポート」（親と子の絵本ワールドイン・いしかわ実行委員会、北國新聞社主催）のワークショップで制作した「漂着モンスター」を収めた絵本「ひょうちやくモンスター」が出来上がった。16日、金沢海みらい図書館と玉川こども図書館で展示が始まった。

「漂着モンスター」絵本完成 昨夏にワークショップ 2図書館で展示

館で開催した、海岸の漂着ごみや貝殻を材料にモンスターを想像して作るワークショップの作品のうち、22点の写真を掲載している。「頭の棒を取ると変身」など、子どもが考えた特徴の説明文が英語とともに掲載してある。

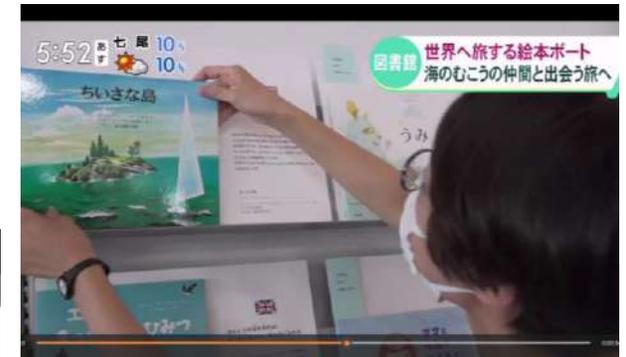
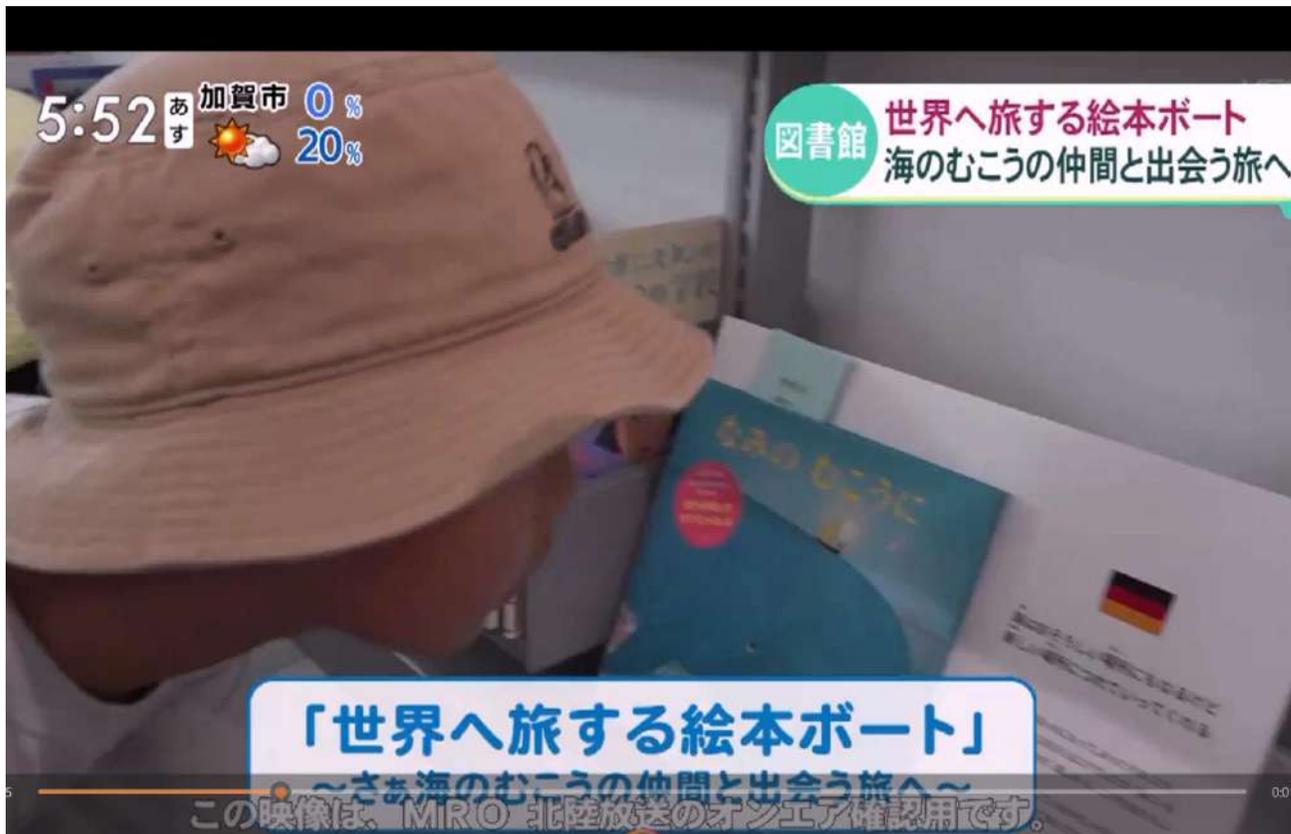
韓国、フランス、オランダ、ポルトガルの各語翻訳版も制作し、市の姉妹都市に贈る。今後、県内各市町の図書館でも閲覧できるようにする予定。



絵本「ひょうちやくモンスター」を読む児童
― 金沢海みらい図書館

2024.02.17 北國新聞朝刊

- テレビ金沢 2023年8月11日「ZERO」での報道
- 北陸放送 2023年8月11日「Atta」での報道



Attaでの報道の様子

告知制作

- リーフレット
- ポスター、図書館掲出パネル
- Instagram
- WEBサイト
- 新聞広告



リーフレット・ポスター

●A3二つ折りリーフ

●A2キャンペーンポスター

STEP 1 漂着し、海辺へ行く漂着物を集めよう。

STEP 2 きれいに洗った漂着物に紐をつけて「漂着モンスター」をつくってみよう。

STEP 3 できら漂着モンスターがどんな海の怪物を生き生きの想像して、名前と物語を考えてみよう。

STEP 4 漂着モンスターの写真を撮影、モンスターの説明をつけてキャンペーン応募。

STEP 5 応募した漂着モンスターが選ばれたら、絵本作りの予約申込みから絵本の絵本の甲で登場しよう。

作者の応募詳細はコチラから

作品応募要項

- 募集テーマ あなたの『漂着モンスター』※あなたが海で拾った漂着物でつくったモンスター作品
- 作品募集期間 2023年 7月15日(出)～9月30日(出)
- 応募方法 上記のQRコードより応募フォームがはじまって、応募ください。
- 応募対象 石川県内の小学生・中学生の方が対象となります。
- 応募メロ 2023年10月1日(00AM)をもって締め切ります。
- 応募作品の用途 モンスター作品が絵本に掲載された方を対象に、完成した絵本を1冊プレゼントいたします。
- お問い合わせ 応募入替する絵本ポータルプロジェクトWEBSITE「海の日」よりお問い合わせください。 <https://www.web.hokkoku.co.jp/hibnbook/>

絵本の完成は2024年1月末
発送は2024年2月予定

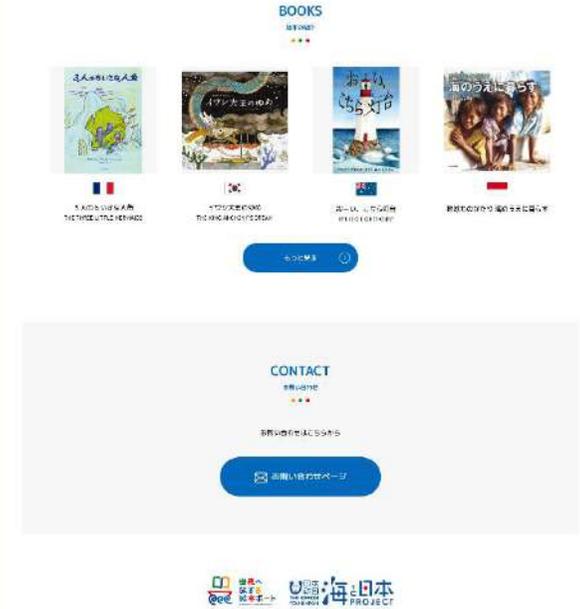
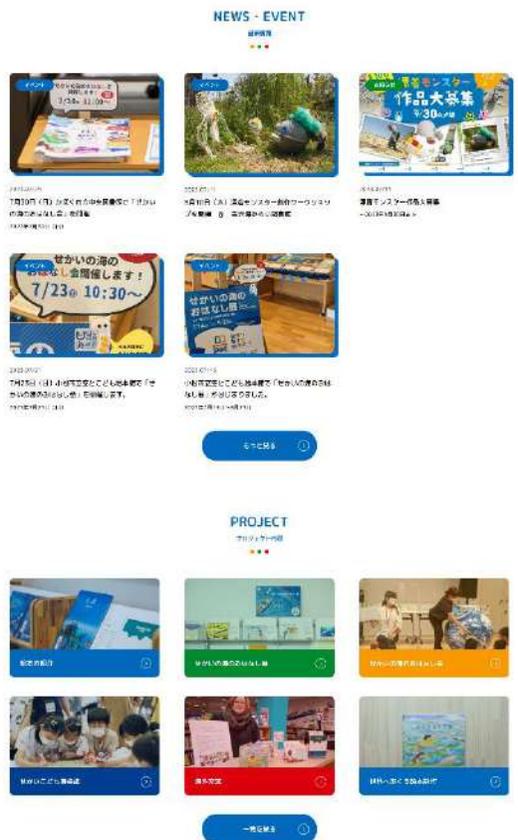
Supported by 日田市 THE BEYOND PROJECT 北国新聞 SUPPORTED SUPPORTED SUPPORTED

お問い合わせ先 漂着モノ制作チーム TEL.076-269-0750

上：表面・下：中面

WEBサイト(更新)

2022年度に制作したプロジェクトホームページのシステム構成が重く、利用しにくい点もあったため、すべてのページにおいて、システムを軽くし、ページ更新もしやすいように変更した。プロジェクト全体概要が把握しやすい内容となった。



- #WEBサイトコンテンツ
- ・プロジェクトの目的／MISSION
 - ・プロジェクト概要／PROJECT
 - ・お知らせ・イベント情報／NEWS・EVENT
 - ・絵本の紹介／BOOKS
 - ・協力団体／SUPPORTERS
 - ・お問い合わせ／CONTACT

MISSION

プロジェクトの目的

「世界へ旅する絵本ポート」は
「絵本」を通じて、子どもたちの「世界の海」への興味を広げ
世界と協力して海を守ることの大切さを届けます。



わたしたち日本人は、海に囲まれた土地に育ち、様々な海の生き物と触れ合ってきました。たぐり人の海の豊かさを
感じて暮らしています。しかし「海」といっても、日本固有のものでなく世界全体とつながる一つの場
所であるため、「海洋生態系の変化」「海洋汚染」などの深刻問題は、国際的課題としてだけでなく、世
界と協力して考えなくてはいけません。

ここから、わたしたちが大切に守っていくために重要となるのは、国際的な協力体制とその基盤とな
るネットワークの共有。そして「真実を大切に守ろう」とする一人一人の意思とその行動を、海を越えてつなげてい
くことです。

本プロジェクトでは、国境から海を越えて暮らす花川原の子供たちが、「絵本」を通じて「自分たち
の身近な海は、世界とつながる海である」と身近な海をワールドワイドに拡大し、世界中で暮らす海を
愛する人々と、自身の身近な課題として考えられる機会をつくり、そして自分たちの海への思いや
考えを「絵本」を通して世界とシェアし、世界のみなさんと一緒に「海」を育めるコミュニケーションを築き上
げていくことを目指します。

国や言語が違っても、海も公平にやさしい「絵本」というものから、海への興味や海を守る気持ちを持
つ人々と共有し、海を守るために必要な協力していくことの大切さを、国や言語を越えてシェアされてい
くことを目指しています。

主催	親と子の絵本ワールド・インししかの実行委員会、公益財団法人
協成	日本財団「海と日本プロジェクト」
後援	金沢市教育委員会、小浜市教育委員会、野々市市教育委員会、おほく市教育委員会、法隆 院、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオがねのこまつ、ほのろ
協力	石川子ども文庫連絡会、金沢市立金沢南小学校図書室、小浜市立堂々こども絵本館、学ば い社会のいろ、カレード、おほく市立中央図書館

PROJECT

プロジェクト内容



絵本の紹介

「世界の海」の絵本や「海の生き物」の絵本を紹介しています。
絵本をいっしょに読んで、子どもたちの「世界の海」への興味を広げます。

詳しく見る

せかいの海のおはなし展

展示中、おはなしの部屋で「世界の海」や「海の生き物」の絵本を紹介する展示
を開催しています。

詳しく見る



せかいの海のおはなし会

世界の海のつながりをテーマに、世界地図や大地球儀を使って
「世界の海のおはなし会」を開催しています。

詳しく見る

せかいこども海会議

海を愛する子どもたちと、世界の海を愛する大人たちと、世界地図や大地球儀を使って
「世界の海のおはなし会」を開催しています。

詳しく見る



世界へおくる絵本制作

子どもたちの海に関する思いやアイデアを世界の人々に伝えるための
絵本制作を行っています。

詳しく見る

海外交流

子どもたちの海への思いやアイデアを活用して制作した絵本を
海外の文庫館や図書館へ届けています。

詳しく見る



2022年度に引き続き、プロジェクト公式Instagramでも各イベントに関する告知やキャンペーンの募集、制作絵本の完成報告などを行いました。「#世界へ旅する絵本ボート」の共通のハッシュタグで、竹与井かこさんや、いしかわ絵本専門士の会とらいあぐるさんにも活動の発信にご協力いただきました。



A blue-toned watercolor illustration of a hand holding a pen, with light rays emanating from the top. The background is a textured, layered blue wash. The hand is rendered in various shades of blue, with the pen held in a writing position. Light rays, depicted as thin, vertical lines, radiate from the top of the frame, creating a sense of illumination and focus on the hand and pen.

今後のプロジェクト展開について



2024年度事業の目標

2022年

事業の立ち上げ&関係者の協力体制の構築

- ・ 関係者の協力体制の構築
- ・ 地元への周知
- ・ 姉妹都市の協力体制の構築
- ・ プロジェクトの実績づくり

2023年

開催エリアの拡大

- ・ 開催エリアの拡大(石川県内6図書館、2商業施設)
- ・ 新規コンテンツの開発・実施

2024年

接触人数の県内における最大化

- ・ 石川県内の全小学校にプロジェクトチラシの配布と制作絵本の寄贈
- ・ 石川県内の全図書館に制作絵本の寄贈
- ・ プロジェクトコンテンツの再検討

2024年度は、昨年度に確立したプロジェクトの協力体制やコンテンツを糧として

◎**広報物や制作絵本を用いた、接触人数の最大化**を行います。



●2023年度取り組みについて

2022年度の実績を経たこともあり、今年度は協力パートナーも拡大して展開することができました。

また前年度実施した経験から各コンテンツの実施内容を洗練させ、各企画それぞれの参加者層にメッセージが届きやすいプログラムとして提供することができたと感じています。

この「世界へ旅する絵本ボート」というプロジェクトを運営し多くの人と接触しながら、この企画は、プロジェクトに参加した人、接触した人から、大きな賛同を得ることができる企画であるということを実感しています。だからこそ、この企画はまだ発展途上でより一層企画展開規模の拡大できる（＝もっと多くの理解者が増える可能性のある）プロジェクトとも感じています。今年度は、事務局・運営体制の人的確保も難しさも感じ、まだもっと拡大できる可能性があったのではないかともしかしさも感じました。

今後は、イベント実施展開以外の方法も考慮して広報面での拡大方法を検討しながらこのプロジェクトの展開を計画していきたいと考えています。

今年度の取組として、企業サポーターの連携と資金確保についても探ってまいりました。

プロジェクト運営の傍ら、数多くの地域の企業を訪問し、プロジェクトの目的と展開内容に深い理解と賛同をいただきました。しかし、プロジェクト運営資金確保につながる実績を増やすことは難しかったです。

地方企業の事業規模、CSR活動に対する事業規模に合わせた内容展開を、今後も引き続き検討していく必要があります。

今年度もご支援・サポートいただきありがとうございました。今後もさらなる発展を考えていきたいと考えています。

世界へ旅する絵本ボートプロジェクト

主催 : 親と子の絵本ワールド・インいしかわ実行委員会、北國新聞

共催 : 日本財団「海と日本プロジェクト」

後援 : 金沢市教育委員会、小松市教育委員会、野々市市教育委員会、かほく市教育委員会、

北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお

協力 : 石川子ども文庫連絡会、石川県立図書館、金沢市立玉川こども図書館、金沢市立金沢海みらい図書館、

小松市立空とこども絵本館、学びの杜ののいち カレード、かほく市立中央図書館